

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和54年5月28日

121 農業機械

調査者氏名 熊野秀一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラディシュ	(現地公用語) Agricultural Machinery	(男) 2人	訓練開始 年 月
	(日本語) 農業機械	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Integrated Rural Development Programme, Ministry of Local Govern-
(日本語): ment, Rural Development & Cooperative 総合農村開発計画局
- ロ. 隊員勤務先名称: Gobindagoy Thana Workshop cum Training 日本語名称 (ゴビンドゴジ郡工場、訓練場)
所在地: Center, P.O. Gobindagoy Dist: Rangpur 主要都市からの距離 (ボラより 35キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: IRDPIは農民の社会的、経済的地位向上を図るため、全国に農協を組織し貯蓄金融、共同施設利用、灌漑水灌漑配布、共同購入等を行なう。TWTCはIRDPI施策の1つで農民に対し農具を供給し、農具使用による生産性向上を目指す。
- ニ. 設備概要: 機械加工、鍛造、鍛造、木工の各作業場を備え、一通りの基礎的な工具測定機具が用意されている。

(2) 隊員の業務内容: IRDPI Special Project 部門は、農具の製作・修理を行なうため、全国6ヶ所にTWTCを建設中だが、隊員はTWTCの技術・経営等運営全般にわたって総合的に助言を与えることと主要業務とし、主としてゴビンドゴジTWTCを担当するが、必要に応じてドゥラトワ-TWTCへも出張して同様の業務を行なう。又カカバジにある工場へも協力し併せてIRDPIに派遣されている地業種のJOCV隊員とも協力し、農村下の機械面の普及活動及び農具の試作・研究に当たる。

- イ. 業務上の地位: 工場における運営面を令り総合的なアドバイザー
- ロ. 技術の範囲: 農業機械、工作機械その他機械に関する一般的な知識・技術のほかに経営に関する知識も必要とされる。
- ハ. 業務の形態: 工場での助言と農村での必要に応じて普及活動地。
- ニ. 対象者及びその役割: 工場では manager, Foreman 等のスタッフ、農村では農協の manager 及び一般農民。
- ホ. 現地で利用可能な材料: ほぼ全てのものが入手可能
- ヘ. 職場に於ける外国人等: なし
- ト. 使用言語: ベンガル語 但し英語もかなり必要

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: JOCVはTWTC建設に同じ、1976年5月以来隊員を派遣し協力を続けたが、現在TWTCの運営が開始されるようになり、またJOCV地業種の隊員と協力した農村下の普及活動も軌道に乗って行われ、効率的な活動とせざるを得ないためにも継続して隊員派遣が望まれている。
過去の隊員の実績が評価され、今後派遣が要請される。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 日本への教育制度及び社会通念の違いにより、短大程度以上の学校を卒業し卒業後1年以上の業務経験があることが絶対的に必要で、運営も含めた幅広い技術・知識が必要とされるため、5年以上の業務経験があることが望ましい。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 54 年 4 月 22 日

121 農業機械

調査者氏名 深津和哉 (54)

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
シリア	(現地公用語)	(男) 3 人	訓練開始 54 年 12 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 55 年 4 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): General Organization for Cattle
 (日本語): 酪農公団
- ロ. 隊員勤務先名称: Jurin Station 日本語名称 (ジュリン牧場)
 所在地: Jurin Hama 主要都市からの距離 (Hamayori 110キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 乳牛約 600 頭、付帯の飼料作物育成圃場約 400 ha
及びその運営管理に要する諸機械・機材を有する。

ニ. 設備概要: 機械部門に限定すると特定のカレー・ワークショップを有しないが、今後建設の見込み。工具等の保有状況は日常整備に差支えのないもの十分とは云えない。

(2) 隊員の業務内容:

(酪農関係)

業務内容はトラクターを含む圃場用機械、ミルクプラント、2基の発電機を中心とするステーション内電気系統、ならびに各種車輛の保守管理。

- ① 現場に於ける事実上の業務推進者。
- ② ミルキング、圃場作業に大幅な支障を来さない程度に諸機械を保守修理管理しうる技術。牧場にはスウェーデン製のアルファラベル、西独製のウエストフリヤのミルクプラントが入っている。
- ③ 職長と協議の上、メカニクと協同して単独で業務に当る。
就業時間原則として 8:00 ~ 15:00 であるが、緊急時においては夜間・早朝・休日 (金曜祝祭日) の就業もある。
- ④ 中卒 20 ~ 45 才で、事に当っては一応何らかの形で処理お能力があるもの、科学的思考法に欠けるくらいである。
- ⑤ 一部部品を除き大型機械工具に至るまで大半は入手可能。
- ⑥ 機械部門に於ては無し。
- ⑦ アラビア語 (シリア方言)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

隊員の存在が何らかの形でプラスに作用し得るという認識に基づき、隊員派遣の継続乃至拡充への牧場側の期待が感じられる。(牧場側より)

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- (本人にとって)
- 特記すべき条件は無いが下記の三条件を満足するならば業務遂行上有益と思われる。
- ① 職場での社会的地位をまぎらさず確立するには肩書に於て 大卒、専修学校卒業。
 - ② 業務内容を考慮すれば自動車整備士 2, 3 級のレベルが必要とされる場合があるが、資格のばあいは有利である。
 - ③ 大規模酪農経営の一貫機械作業体系において一年程度の経験は有益と考えられる。 45

4年制大卒

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

121 農業機械

記入昭和 51年 10月 20日

調査者氏名 小嶋 泰之

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
7242P	(現地公用語) Agro-Mechanization	(男) 1 人	訓練開始 52年 4 月
	(日本語) 農業機械教師	(女) 人	派遣予定 52年 8 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 52年10月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Manpower Development Div. Min. of Agriculture
(日本語): 農業者人材開発局

ロ. 隊員勤務先名称: Min. of Agriculture Training Institute 日本語名称 (農業専門学校)
所在地: Mlingano (Tanga) 主要都市からの距離 5ヶ所より40キロ

ハ. 事業規模及び内容: Agro-Mechanization, Farm Management 2学科を有する Diploma 課程 (2年制 農業短大相当) の学校。専任教員 6名 養成機関である。本年6月開校。生徒数 100名 学年当り 40名。教師数 15名。

ニ. 設備概要: 教室、職員室、Workshop 等、建物は完備しているが教材、図書、workshop 設備は除々に供給しているが不完全。

(2) 隊員の業務内容: Agro-Mechanization 学科の主要教科は Farm power, Farm-Machinery, workshop technology 各教科を担当して教える。農業機械化、電化に関する全ての分野にわたりその理論と応用を教えるが、実地教育に重点を置いていく。別紙 シラバス 参照

- ① 教科担当教師は2名派遣される。
- ② 現場の普及活動に即対応出来る人材養成に主眼を置いていく。Diploma 課程と比べ専門に拘束され内容は総合的。自動車の構造及び整備技術に重点を置く。教師が不足しているところから担当教科以外に例えば、製図、測量、数学などの教科の指導を依頼する可能性は大きい。
- ③ 担当教科の指導 (実習を含む) を単独で行う。
- ④ カウリー・パートは期待出来ない。教科担当は全入学者で占められている。生徒は小学校7年、Secondary School 4年、農業の Certificate 課程2年を修了した者、Sec. School 6年の修了者又は、Sec. School、農業の Certificate 課程修了後、国営機関や国営農場に勤務し、職場の推薦により入学した者等である。年齢 20~25才。
- ⑤ 近い将来、充足の必要はないが調査時点では、トラクター程度。
- ⑥ インド人専門家 (Agro-Mechanization 学科主任) 1名のみ。将来増員を見込み。
- ⑦ 英語。教室での授業は全て英語です。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 農業者は各ウツマ-村、国営農場に専任の普及員を配置することを意欲的な教育計画を策定し、目下実施の段階に入っており、Diploma 課程はこの目的を以て高等専門普及員の養成を目的とされている。協力隊に対しては、このため教育訓練分野での申請をしております。これは過去の農業隊員の実績を背景として、協力申請であり、これに必要なのは、協力は運動を行う必要が意識を有するものと確信しています。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 大学卒業 (農業機械を専攻した者)
 - ② 英語
 - ③ 実習経験 (農業機械)
 - ④ 現地に到着時の年齢 25才以上
- 農業機械を教える講義と実習の両方、語学力 (英語) と農業機械に関する広い範囲の理論的知識が要求される。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 54 年 7 月 10 日

121 農業機械

調査者氏名 大塚 保広

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
コスタリカ	(現地公用語) MECANIZACION AGRICOLA	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 農業機械	(女) 人	派遣予定 80年 2月
		(どちらでも可) / 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): MINISTERIO de AGRICULTURA y GANADERIA
(日本語): 農牧省

2. 隊員勤務先名称: DIRECCION de INVESTIGACIONES AGRICOLAS (農業調査局)
所在地: TILARAN (主要都市からの距離がホセより 200キロ)

3. 事業規模及び内容: 農牧省次官が直接に指揮する大型プロジェクトで
77目的ダムの建設により水没した農家をダム湖周辺に
移動し農業を定着せよとされる。

4. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容: 隊員の任務は同プロジェクトのうち、特に野菜栽培関係
の農業が資金、貸し付けにより購入した小型農業機械の
操作指導及び修理にあたる。

① 隊員の業務上の地位: 農業機械の操作、修理指導

② 技術の範囲: 山岳地における蔬菜園芸用
機械 (特にアメリカ製が多い) に
精通していること

③ 業務の型態 ④ 未定

⑤ 現地で利用できる機材: 農家が政府の貸し付けで購入
している段階である。

⑥ 現地におけるオーストラリア人の有無: 現在いない。

⑦ 使用言語: スペイン語

3) 受入希望の背景と受入国の期待:

プロジェクトの現場が山岳地にあるためアメリカ製の
大型農機が使用できないため、ハンドトラクター程度
の導入を考へており特に野菜栽培 (トマト、キャベツ
レタス、ピーマン等) 用機具の操作、修理の向上を要する。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

・大卒 農業機械に十分に慣れていること
・年齢 25~26才以上
機械はアメリカ製が望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55 年 4 月 日

121 農業機械

調査者氏名 ^{在パラグアイ} 海外駐在員 望月 久 調

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
PARAGUAY	(現地公用語) MAQUINALIAS AGRICOLAS	(男) 1 人	訓練開始 55 年 10 月
	(日本語) 農業機械	(女) 人	派遣予定 56 年 2 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministerio de Agricultura y Ganaderia (MAG)
(日本語): 農牧省

ロ. 隊員勤務先名称: Instituto Agronómico Nacional (日本語名称 (国立中央農業試験場))
所在地: Caacupé, Cordillera (IAN) 主要都市からの距離 (首都より 52 キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

IAN は農牧省試験普及局に属し各種農産品 (小麦、トウモロコシ、大豆、棉花、果物、野菜 etc.) の育種試験栽培 etc. を実施しており、これら試験結果に基づき優良品種の奨励、農民への普及業務を行っている。

ニ. 設備概要: 中央試験場でもありスタッフ数、設備状況 etc. から整備されている。同一敷地内にスイスの協力を得て運営されている 2 年制の農業機械学校 (Escuela Agromecánica) が設置されている。

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位 - 修理技術者 (Tecnico)

② 技術の範囲 - IAN の試験栽培用農地で使用されている農業機械 (トラクター、60~100馬力、コンバイン etc.) の修理、整備、保守業務に従事する。導入機種は、マシーナガンソ、ジョンダイール、ホルボロなどが主。又、IAN が行なう短期講習会に参加する研修生に対し、農機具の整備、保守操作を指導する。

③ 業務の形態 - 試験場の機械修理 etc. が当面の業務となるが、技術者養成を目的として農牧省所管の全上 "Escuela Agromecánica" とも密接な関係をもっていることから、いづれ、何かしらの関連が出てくることも考えられ得る。又、状況によっては農牧本省の要請で各地の農学校巡回 etc. 依頼されることも予想されるので、勤務先を極端に固定化しない姿勢が必要と思われる。

④ 対象者及技術水準 - カウンタートはなし。技術レベルは極めて低い。

⑤ 利用できる機械 - 修理工具等は一通り揃っている。但し、隊員用として修理工具一式 (レンチ、ドライバー) 他基本的なものを持つ必要がある。

⑥ オブ国人等の配置 - 農業機械学校にスイスの専門家若干名

⑦ 使用する言語 - ス페인語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

当国の農法は大規模農法であり多くの農業機械が導入されているにもかかわらず、技術者養成が系統だて行われておらず、極端な技術者不足を来しているのが実情である。かかる状況と給分でも確知するべく又将来の技術者養成へとつながるべく、我が国の協力を要請して来たものであり、期待される所大なるものがある。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○ 大学卒 実務経験 2~3 年 農機具の操作も出来ること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

新保昭治

記入昭和 55 年 6 月 30 日

131 家畜飼育

調査者氏名 菊池 陽一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語) Artificial Breeding	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 家畜人工授精(牛)	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 56 年 2 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Bureau of Animal Industry Region 7
(日本語): 才也地域畜産局

2. 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 (畜産局)
所在地: Cebu city 主要都市からの距離 (約 100 km)

3. 事業規模及び内容: Cebu 島を中心に, Bohol 島, Negros Or 島, Siquihor 島 4 島 (4 県) を管轄し, 主に, ① 予防接種 ② 普及活動 ③ 家畜改良 (人工授精) ④ 自給飼料 (牧草を含む) の推進を行っている。

4. 設備概要: 各県に家畜保健所, 家畜診療所, 家畜人工授精所等があり, 十分とはいえないが, 一心仕事をさしげたい程度の設備である。

(2) 隊員の業務内容: 家畜改良促進の一手法として家畜人工授精の普及及び同 Region 内の人工授精師の技術向上のための講習会の開催等の外, 昨年 10 月から始めた山羊 (乳用) Project, 牧草栽培の展示等の業務にあたる。

1. 隊員の業務上の地位: 家畜人工授精師に対するアドバイザー

2. 技術の範囲: 凍結・液状精液を用いた人工授精業務の外, 一般的家畜飼育管理面の知識・技術が要求される。

3. 業務の形態: 家畜人工授精, 家畜改良の必要性を農民に対し普及する。

4. カウンターパートの学歴及び技術水準: 大卒, 一心の技術がある。

5. 現地で利用出来る機材: 十分とはいえないが, 人工授精業務に関してはほとんど揃っている。

6. 才也国人, 専門家等の配属状況: Region 7 に 4 名のアメリカ羊本部隊員が配属され, 農民と畜産局のハイブの役割を果している。

7. 使用語言語: 英語, ビサヤ語,

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 菊池陽一隊員 (55 歳, 家畜人工授精) の交替要請, 家畜改良の促進を目的とした家畜人工授精も, 現在のところは, 受胎率 30% 程度に低く, 普及への大きな障害となっている。これには精液の質も一つの原因であるが, 人工授精師の技術, 家畜改良への意識, 知識の低さが一番の問題と思われ, 以上の揚上には隊員の協力活動が期待される。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 学歴は ~~大卒~~, 家畜飼育の知識・技術も十分である人であれば高卒, 大卒は内可。
- ② 家畜人工授精師 (牛) の資格を持っていること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和54年3月31日

131 家畜飼育

調査者氏名 神谷弘司

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン 共和国	(現地公用語) Animal Husbandry (日本語) 家畜飼育(養豚)-B.D	(男) 1人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 55年2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Western Luzon Agricultural College (WLAC)
(日本語): 西部ルソン立農業大学

ロ. 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 ()
所在地: San Marcelino, Zambales 主要都市からの距離 (マニラより) 154キロ

ハ. 事業規模及び内容: 268haの敷地を有し(キャンパス部20ha)高等部生徒数1038名、短大部117名、大学部237名、教員数50名、職員数30名から成るルソン立農業大学の一つである。昨年度の当校予算は総額110万ペソである。

ニ. 設備概要: 養豚部門だけを記すと豚舎2棟あり、1棟は56㎡あり、他1棟は2㎡あり。

(2) 隊員の業務内容: 隊員はカリッジの生徒に養豚を指導し、現在保有している豚の繁殖化にも従事しなければならない。特に優良品種の導入が最重要である。学校内の消費に足りず、供給の余剰は当地社会に供給が望まれる。現在保有している豚は計39頭でその内訳は次のとおりである。Suckling 19頭, Weanling 10頭, Sow 6頭, Gilt 2頭, Boar 1頭, Hog 1頭。

- ① 隊員の業務上の地位: 1st Officer - 兼 PD Officer
- ② 技術の範囲: 養豚全般に亘り、現在人工授精は当校には行われておらず、この点の導入が必要であり、その飼料は心臓病予防。
- ③ 業務の形態: 養豚に関する講義、実習を行う。実際に養豚に関する資料(肥育)。
- ④ 対象者は心からレポートの技術的水準・学歴B1年令: カリッジの学生。カウンセラーは当校の1st Officerで "Mr. ANASTACIO C. FARIN" 23才。大学で家畜飼育専攻で経験1年。技術程度は非常に低い。
- ⑤ 現地で利用できる機械: 特になし。
- ⑥ 母国人数: なし。
- ⑦ 使用する言語: 英語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 新規受入。
当校を中心として当校及び地域社会への養豚の推進が期待される。

- (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
- ① 大学者
 - ② 養豚に関する経験時に人工授精に関する経験が最低1年以上あること。
 - ③ 英語力があること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和54年9月15日

131 家畜飼育

調査者氏名 山崎 昇

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
アフリカ共和国	(現地公用語) Animal Husbandry	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 家畜飼育(養豚)	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): AKIam Agricultural College (A.A.C)

(日本語): アフラン農科大学

ロ. 隊員勤務先名称: 全上

日本語名称 (全上)

所在地: Banga, AKIam

主要都市からの距離 (カボより 8 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 農業・畜産・農業工学コース及び修士課程(初級農業教育)を持つ大学部と併設の4年制農業高校; 並に2年制農業技術科がある。

学生総数約1,600名, 教員総数約70名。農地約60ha(実習地を含む)

ニ. 設備概要: 畜舎一棟, 若干の放牧地, 化学実験室等ありはるが, 日本の高校や大学にみられる3P研究室とつた施設はない。1980年にはState Collegeに昇格予定。

(2) 隊員の業務内容:

- ① 隊員の業務上の地位: プロジェクトのインチャージ(大学教官)と同格
- ② 技術の範囲: 豚の生産, 肥育, 自給飼料の調製, 養豚に関する講義及び実習指導
- ③ 業務の形態: 畜産部門の養豚場が主たる活動の場となるが, 地域内農家への養豚経営(自給飼料を中心とした)の普及及び養豚に関する科目の担当(講義-実習)
- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準: 高校生, 大学生を中心に講義-実習を行うと共に地域内農家(養豚に対する知識は低い)が対象となる。
- ⑤ 現地で利用出来る材料: 注射器などは不足である。
- ⑥ 職場に於ける外国人及び日本専門家への配置状況: 現在米国防務部隊2名が活動しているが, 畜産部門には関係していない。
- ⑦ 使用する言葉: 大学での業務に関しては「英語」を使用するが, 当地のダイアクト「アクライン」を使用する機会が圧倒的に多く, 特に普及活動を行う場合アクラインが主となる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 遠藤賢司隊員(53年前, 家畜飼育)の交替要請。

先任隊員は主に肉用牛のプロジェクトを担当してきたが, 昨年10月からは養豚普及(大学で生産した素豚を農家へ貸与する方式を取予定)プロジェクトの諸準備に取組む予定である。これからは素豚の生産で大学側の基盤整備を行ない。 域内農家の経済向上を目指した自給飼料主体の養豚を農業経営の中に定着させて行くこととなる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○(農学部畜産学科卒)で養豚, 養鶏に2年位の業務経験のあることが望ましい。
豚の玄飼, 診察, 治療の経験があること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和54年9月14日

131 家畜飼育

調査者氏名 神谷弘司

フィリピン共和国

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Animal Husbandry (AI)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 家畜飼育 (人工授精)	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 55年10月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Bureau of Animal Industry (BAI)
(日本語): 畜産局

ロ. 隊員勤務先名称: National Artificial Breeding Center (NABC) (国立人工授精所)
所在地: Alabang, Muntinlupa, Metro Manila 主要都市からの距離 (マニラより20キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 畜産局傘下により輸入凍結精液 (液体窒素冷却) の地産地消, 国内製凍結精液の製造及び輸送, 現地の人工授精師への研修等を実施している。
今年度予算規模 125万ペソ (360万円), 正職員 16名, 臨時職員 2名。

ニ. 設備概要: 約 80ha の土地に雄牛牛舎 (採精用), 雌牛牛舎 (約 20頭) の雌牛を人工授精師研修用, 80cm 超長方体サイロ (一方用性) 1基, 水パイプ, 防虫網植栽地/研室等併設。

(2) 隊員の業務内容

現在精液採取用雄牛はミュー種水牛 2頭, ホウスタイン 1頭, レッドグロウマン 1頭, ウォルターグロウマン (輸入精液) 2頭, ミュー種若雄水牛 (現在訓練中) 3頭いる。週3回の頻度で行なう凍結精液の製造にスタッフとして ① NABC (主に水牛から), ② 畜産局と契約している個人大牧場 Pサーファード (肉用牛), ③ フィリピン唯一の乳用牛大牧場 マククリップファームでの凍結精液製造に携わる。又, 将来日本式ストロー式の凍結精液に移行する予定があり, 其の研究, 普及, 必要機材の調達に任務を負う。その他年に3回~4回1ヶ月間の期間で実施されている現地人工授精師に対する研修の教官としての任務もある。

- ① 隊員の業務上の地位: 技術指導員。
- ② 技術の範囲: P2P1V式, ストロー式凍結精液製造に内する技術。人工授精教官としての早期妊娠鑑定から分娩までの鑑定技術。
- ③ 業務の形態: 凍結精液製造にふりまわす他の職員と一緒に仕事しながら, 自らは一歩リードしている。しかしリードの教える形態をこなすから, 相手に教えられるという印象をまきおこさない。

- ④ 対象者及び対象者への期待: 大卒者で人工授精フィールド歴3年以上, 外国研修(6ヶ月)の経験あり。
- ⑤ 現地に利用すべき機材: 精液低温処理装置 (FHK, ストロー用, 4密式), 液体窒素タンク, その他人工授精用器具, ゴム手袋, プラスチック手袋等あり。
- ⑥ 職場における外国人等: なし。 ⑦ 使用言語: 英語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 畜産局職員 (即ち隊員, 家畜人工授精) の改善申請。徐々に発展している人工授精プログラムの促進に寄与することを期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 大卒者で実務経験3年以上。 ② 人工授精フィールド歴1年以上。
- 3. 可能であれば獣医師か, 又, 凍結精液製造に携わった経験のある人で, 赴任時年齢30歳以上。
- 4. 英語能力レポート提出が頻繁にあること, かなりよい能力を要する。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和54年3月 日

131 家畜飼育

調査者氏名 松尾邦義 小沼康幸

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
シリア アラブ共和国	(現地公用語) Animal Breeding	(男) 3 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 家畜飼育	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 55年2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): General Organization of Cattle
(日本語): シリア酪農公団 (農産省下)

ロ. 隊員勤務先名称: Fidjo Station 日本語名称 (フィジオ牧場)
所在地: Fidjo, Latakia, 主要都市からの距離 (シリアより 15キロ)

ハ. 事業規模及び内容: ホルスタイン, フライシャー, レッドデューシー種乳牛を中心とする乳牛
200頭, 総頭数 500頭のシリア国営牧場

ニ. 設備概要: 15年前, 32人仕立建設した2階コンクリートビル16棟 ハリウッド型
ミルクパーラー1棟, 専用地 50ヘクタール, 概してアメリカ型酪農形態である。

- * (2) 隊員の業務内容:
- ①: "expert" of dairy cattle breeding (酪農飼養管理の専門技術者)
 - ②: 飼料給与, 搾乳技術, 子牛育成 その他一般乳牛飼養管理。
 - ③: シリア公務員に準じて, 一日6時間半労働, 年間30日の休日が原則。
 - ④: 現地人エンジニアはほとんど大卒以上の専門教育を受けている。農業についてはよく
深く知っている程度。
 - ⑤: 一般設備は整っている。Alpha-label (スウェーデン製) の搾乳機が入っている。
 - ⑥: 乳
 - ⑦: アラビア語, 英語

畜牧場

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現隊員(小沼隊長)の評判が非常に高く, 現隊指導員
継役を強く希望している。10月19日の任期終了後小沼の受入れは, 是非とも
55年2月の派遣まで不能とした。小沼の半年間の任期延長の可能性は
検討されている。

* (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

④年制大学(農学印 畜産大学, 農業大学)卒, (酪農牧場経験2年以上) (酪農経営一般
の経験があることが望ましい。)

* 上記(2)は酪農公団の各牧場に共通する。当公団が59歳畜飼養経験の調査表(2巻
年報)を参照して行う。 (小沼の希望は)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 4 月 日

13105 養 蜂

調査者氏名 ^{在パラグアイ国} 海外駐在員 望月 久美子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
PARAGUAY	(現地公用語) APICULTURA	(男) 1 人	訓練開始 55 年 10 月
	(日本語) 養 蜂	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 56 年 2 月 受入期限 56年4月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 Ministerio de Agricultura y Ganaderia (MAG)

イ. 配属先名称 (現地公用語): Servicio de Extención Agrícola y Ganadera (SEAG)

(日本語): 農牧省農牧普及公団

ロ. 隊員勤務先名称: Agencia de Caacupé 日本語名称 (カクペ普及事務所)

所在地: Caacupé, Cordillera 主要都市からの距離 (首都より 54 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 農牧普及公団が統轄する全国約58ヶ所の普及事務所の中でも、カクペ普及事務所は、コルディエラ県に於ける中央連絡所的機能を果たしており、5人の普及員を中心に管内農家に対し一般農業指導、生活改良普及、洋裁指導等の業務を実施している。

ニ. 設備概要: 普及指導を主要業務とする性格上、機械等は皆無。唯一隊員携行分のみ基本的設備は、一応整っているが、建物が古く、水が十分ないのが欠点である。

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位 - 普及指導員

② 技術の範囲 - 野生蜂の取り方、管理方法、採蜜、女王蜂の改良、ロイヤルゼリー採集までを一貫して初心者から指導するほか、既養蜂家に対しては各種問題等の相談役を担う。

③ 業務の形態 - コルディエラ県に於ける小規模養蜂農家と巡回指導し、上記「技術の範囲」を指導すると共に、シーズンオフには養蜂に関する簡単なパンフレットを作成したり、又民間ラジオ放送を通じて、養蜂の生態に関するブリーフィングを行なうことも期待されている。その他、養蜂振興を目的とした短期講習会に於いて参加者への実地指導にも従事するなど幅広い活動が要求される。

④ 対象者及技術水準 - 一般養蜂農家 (年齢はまちまち) を対象。既養蜂家はある程度の知識・経験を有する。

⑤ 利用できる機械 - 業務遂行上、国立アスンシオン大学農学部養蜂学研究室と密接な連携を維持することが必要で、果箱作成、蜜源調査、花粉、蜂蜜分析等に關する一切の機械は、同研究室での活用可能。

⑥ 本国人員の配置 - 全上養蜂学研究室に対する専門家派遣が約10年間続き、本年をもってプロジェクト打ち切りの予定 (通称「養蜂」)

⑦ 使用する言語 - ス페인語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ここ数年当国の養蜂に対する関心及認識は非常に高まりを見せ、養蜂を志す人々が増加する傾向にある。これは蜂蜜の単価が上昇していること、特に一部地域では土地条件が非常に悪く、他の農業では生計維持が困難であること、養蜂業では依然に自立し得る結果が次第に出現していること等によるものである。小農家の生活向上を政策に掲げる農牧省として、更に養蜂の普及を図るべく、今回要請したものである。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

学歴は特に拘わらないが、荒いアフリカナイズされた野生蜂を管理し得るだけの実務経験が必要とされる。

又同大学養蜂学研究室の器具、器械を利用する観点から、実験及び実験器具に対する基本的知識を有すればおよい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和54年3月31日

132 養 鶏

調査者氏名 神谷弘司

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
7111EV 英和(国)	(現地公用語) Poultry (日本語) 養鶏-B.D	(男) 1人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 55年2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Western Luzon Agricultural College (WLAAC)
(日本語): 西部ルソン州立農業大学

2. 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 ()
所在地: San Marcelino, Zambales 主要都市からの距離 217.4 (マニラより154キロ)

3. 事業規模及び内容: 268haの敷地を有した(キヤバサ部20ha)高等部生員数1038名、短大科119名、大学部237名、教員数50名、職員30名から成る上同のルソン州立農業大学の一つである。昨年度入学生数(平均)は総員110万ペソである。

4. 設備概要: poultry部門の2100坪のブロイ用鶏舎1棟、産卵用鶏舎1棟、卵の卵用建物1棟、水用鶏用建物1棟、地電熱Incubator1機(同時に3000の卵を処理可能)

(2) 隊員の業務内容: 養鶏のプロジェクトは0.6haの敷地に上記4棟の他に飼料用のシリウガム、パイプラインが栽培されている。現在保有している鶏はブロイ用が900羽、産卵用が460羽である。このブロイ用鶏、卵は学校内部の消費に使用されたり、時に生産を増やして地域社会にも供給する計画である。

- ① 隊員の業務上の地位: アシスタント・プロパギエーター
- ② 技術の範囲: ブロイ用鶏の飼育、ブロイ用鶏の飼育管理、卵の卵技術、飼料配合、病理学、養鶏技術(管理)の全般に亘る。
- ③ 業務の形態: 養鶏学への講義、実習を初め、レポートと共に受け持つ。養鶏の研究も実施される。必要に応じて地域社会の農民のために当校に於いて技術的支援を行う。副次的にブロイ用鶏の卵の生産も行う。
- ④ 対象者の心算のレベル・技術水準・学歴のレベル: 加24-18-10当校の121319-24年、農業大学BSAEコースを卒業し、当校での経験は1年、専攻は家禽学であり養鶏には深い知識を持っている。Mr. David A. LUBONG。生徒は養鶏専攻のコースを取らないうちは生徒が全てある一定期間必修しなければならない。これはカリキュラムの生徒である。

⑤ 現地に利用できる機械: 上記設備の他にインキベーター1台、35cmの。

⑥ 母国の人等: なし。⑦ 使用する言語: 英語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 新規申請

当校及び当該地域に於ける養鶏の振興が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 大卒者
2. 養鶏の経験が最低2年ありこれが必要
3. 養鶏に必要

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55年 4月 28日

調査者氏名 平沢 昭男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語)	(男) 1人	訓練開始 年 月
	Poultry	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Bangladesh Agricultural Development Corporation
(日本語): バングラデシュ農業開発公社
- ロ. 隊員勤務先名称: Agricultural Developmet Estate 日本語名称 (農業開発農場)
所在地: P.O. Kashimpur, Dist: Dacca 主要都市からの距離 (ঢাকাより 40キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 近隣農民(約5万エーカー)への普及活動及び機械化を含む農業技術向上の目的の約60エーカーモデル農場で野菜種苗生産、F20=21=22栽培農民教育等を行う。また、養鶏に関しては新しい分野となる。
- ニ. 設備概要: 事務所、教室、農機修理場、野菜販売所、倉庫、鶏舎、職員住宅等の建物
深井戸ポンプ

(2) 隊員の業務内容: カシムプル ADEが実施している業務のうち、養鶏に関する普及業務を担当する。

- イ. 業務上の地位: 養鶏普及部門を担当する農場長補佐役
- ロ. 技術の範囲: ADE周辺の農民の中で鶏を飼育する者は多いが、不化育やうがさ養鶏技術全般を通じて指導できる技術者が少ない。その現地の気候条件、経済条件に合った鶏舎の建設指導に力を入れ、各農家における飼育指導にあたる。育種等の高度な技術は必要ないが、日本と全く条件の異なる環境下で有力な動物タンパク供給源としての鶏をどう飼育し、採算にあわせるか、基礎的な知識に基づく応用力が求められる。
- ハ. 業務の形態: ADEにおけるF20=21=22の普及指導。
- ニ. 対象者及びカウンターパート: 一般農民が主となる。
- ホ. 利用可能な材料: 農機用材料以外はない。
- ヘ. 協力専門家等: アメリカ CAREからの米国人1人 協力隊員(野菜)1名
- ト. 使用する言語: ベンガル語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: バングラデシュは全体的に動物性タンパク質の供給源が不足しており、魚、鶏等の需要が高い。また、当国ではこれまで知識のみの先行し、実行がなかなか傾向がある。養鶏普及の計画を確実に実施するため、現場での技術者が強く必要とされている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

養鶏農家出身者であれば申し分ないが、短大以上の学校で養鶏を学び実務経験1年以上に有する者が望ましい。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 54年 9 月 日

133 飼料作物

調査者氏名 松尾新吾

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣
シリア アラブ共和国	(現地公用語)	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
	家畜飼料	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture and Agrarian Reform

(日本語): 農業省農地改革局

ロ. 隊員勤務先名称: 国営農公団下の牧場

日本語名称 (~~国営農公団~~)

所在地: シリア中部のシリヤの牧場 舞都市から約 100km (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 多くの種類の草を育てる。各牧場平均 1000 頭の牛がいる。月々の milk-production の増産を各牧場から目指している。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

- 農業省国営農公団下の牧場が管理する草地についての、草地利用、牧野改良に從事する。
- 牧場の規模は異なり、50~200頭の牛を飼育する。主に、シルビア、ソルビア、イエ、エン、大麦が中心である。
- シリアの肥料、飼料、輪作、草の刈り取りの方法を、畜産関係者が草場を有効に利用する。
- 各牧場の一部には Directorate plant (草地部門) の Director がおり、10人程度。Director への報告や、草地部門下のチームリーダーの指揮指導。
- 言葉は英語、アラビア語
- 一部の農業機械は修理する (スウェーデン製)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

現在シリアの家畜飼育関係者は、草の飼料についての関心が高まっている。草の飼料の増産を希望している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農業女子、農学専攻、実務経験 2,3年

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

133 飼料作物

記入昭和 54年 11月 22日

調査者氏名

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
REPUBLICA DE HONDURAS	(現地公用語) CULTIVO DE FORRAJES Y COMBINACION DE ALIMENTOS	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 飼料作物	(女) 人	派遣予定 1980 年 8 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 INSTITUTO NACIONAL DE FORMACION PROFESIONAL 国立職業技術庁

1. 配属先名称 (現地公用語): CENTRO DE FORMACION PROFESIONAL DE JUTICALPA - CHOLUTECA
(日本語): フタカバ・チョルテカ 職業技術センター

ロ. 隊員勤務先名称: CENTRO DE FORMAC. PROF. (JUT.-CHOL.) 日本語名称 (フタカバ・チョルテカ 技術センター)
所在地: JUTICALPA (OLANCHO) CHOLUTECA (CHOL.) 主要都市からの距離 (首都より200キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 国立職業技術庁(INFOP)は国家開発計画に基づき産業振興の基礎となる人材の育成(技術・技能者養成)を目的として設立され今年より本格的な活動が開始された。フタカバ、サハパロスに職業技術訓練センター、フタカバ、チョルテカに農業技術訓練センターを有する。

ニ. 設備概要: フタカバにINFOP本部があり、農業は東部 Juticalpa、南部 Choluteca の2つのセンターにて教育指導が行われる。設備は国内企業からの拠出金、国連、西ドイツの援助により約8割は整備している

(2) 隊員の業務内容:

隊員は上記2カ所の農業技術訓練センターを中心に農家の子弟(15才~18才の青年)及び農民に対し飼料作物の講座(理論・実習)を行なうもので、必要に応じて農家への巡回指導、地方講習会も実施する。東部、南部地区は国内で特に牧畜が盛んであるが、農家には子弟を農業高校で学ばせるだけの経済力はない。経験による農業には限界があり、地場産業育成のための技術者養成が政府の最大の課題となっている。INFOPは一般民衆のための技術教育機関で中心になっている青年部門は小学校卒業者が入学資格試験を受けられるシステムになっている。(1クラス15人、3年制)

① 隊員の業務上の地位 農業技術訓練センター教師、農業改良普及員

② 技術の範囲 指導対象者が農民とその子弟(小学校卒の学歴)であると3から、高度な技術は必要としないが農業全般の基礎知識が必要となる。家畜は牛が中心で豚、馬、山羊も多く見れる。牧草地の有効利用、肥料、水、病虫害等についても理解、指導が可能など。また、教科書の作成、調査、実験も課せられ、授業計画も現地に合わせ立案する。

③ 業務の形態 訓練センターの時間制 午前7:00~午後3:00 (青年部門) 午後6:00~8:30 (農民再教育)

④ 対象者 農民とその子弟。カンパルトには同僚の教師が予定されており、現地側教養の育成も要請されている。

⑤ 現地で利用できる機材 指導に必要な農機具は8割程度整っているが教科書、マニュアル類が少ない。1981年の本格的に業務を開始できるが、米遣後、隊員自身が調査準備する必要がある。

⑥ 朝晩家内3人の配置なし ①使用言語 スペイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ホンデュラスは農業を基幹産業とし人口の3分の2が農業に従事。牧畜は全農業生産の15%を占める重要産業であり、農民の技術向上による品質、生産量への期待は大きい。隊員の地道な努力の積み重ねによる協力が最も望まれる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学農学部にて飼料作物を専攻、修得したもので、農業全般の基礎知識を有するもの。農家の子弟であればなおよい。実務経験2~3年。農業改良普及員免許

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

135 獣 医 師

記入昭和 54 年 10 月 日

調査者氏名 松原邦義・岡本浩夫

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
シリア 共和国	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 55 年 8~10 月
	獣医師	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture and Agrarian Reform
(日本語): 農業界改革省
- . 隊員勤務先名称: Animal Health Division, State 日本語名称 (国営牧場 獣医部)
所在地: Dairy Station 主要都市からの距離 (首都より 500 キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 1976~80 年 5 年計画では国営道地 50 所に牧場を開設し、各牧場では平均 1000 頭の乳牛 (ホルスタイン、フリースタッド) を飼育し牛乳を生産することをめざしている。
- ニ. 設備概要: 現在 8 人の国営牧場 (56 箇所) に隊員を派遣して、平均 1000 頭の乳牛を飼育し、ミルクマシーン、飼料槽、水槽は整備されている。

(2) 隊員の業務内容:

- ① 隊員の業務上の地位: 獣医師
- ② 技術の範囲: 乳牛の診療、妊娠鑑定、臨床獣医としての力量の向上。幹部には 3-4 人の留学経験者がある。これは貴重。診断書について彼は納得し、謝辞を述べた。
- ③ 業務の形態: 牧場の獣医の一員として、ドクターとして働き、獣医部長の指揮の下で、ルーティン業務に従事する。亦畜飼育隊員と協力して働く。
- ④ 対象者、研修の技術水準、研修: 獣医部の若年獣医と対し、頻りに会う。彼は技術の習得 (臨床) 目的で、研修の中心となる。シリアの「国営」獣医師は、F.V. 和大学の獣医学科卒業生で、3-4 人の研修機会を確保している。
- ⑤ 現地で利用可能な施設: ないものはある。
- ⑥ 栽培の専門国人は日本人専門家: 乳牛、F.V. シリアの牧場の元締めである酪農家は、常に 10 年間の折田 (F.V.) 専門家から研修を受けている。
- ⑦ 使用する言語: 英語、アラビア語 (口語 = シリア方言)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 牧場全体の乳量の増加を、具体的達成目標とする。また、人材の育成も必要。②-⑥ の記述に、酪農公園本部に在る経験豊富な日本人専門家の勤務に、最近では 2-3 年派遣された Jock 隊員の高い評価や、要請の背景とされている。亦畜飼育隊員と協力して、牧場の運営と積極的に改善することをめざしている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○獣医師免許。成績は乳牛に肉を専攻経験が望ましい。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 11 月 10 日

調査者氏名 駒沢 彰夫

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
タンザニア	(現地公用語) Veterinary	(男) 1 人	訓練開始 55 年 12 月
	(日本語) 獣 医	(女) 人	派遣予定 56 年 4 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture, Director of Livestock Development Div.
(日本語): 農業者畜産開発局

ロ. 隊員勤務先名称: Veterinary Clinic 日本語名称 (家畜診療所)
所在地: P.O. Box 57 Mbeya 主要都市からの距離 (東京より 830キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 犬、猫 単外米患者の診療 (予防接種 投薬等)
いなか畜産 (山羊 羊 牛 豚等) の往診
家畜の移動許可証, 伝染病発生時の移動禁止令発令等

ニ. 設備概要: 簡単な手術用器具, 顕微鏡, ワクチン用冷蔵庫等有り

(2) 隊員の業務内容:

1. 診療所における 主として 小動物の診療
2. 周辺農家からの 診療要請に応じ 往診 及び 畜主への 助言を行う。
3. その他必要に応じ 州畜産課, 市畜産課 技術者への 技術的アドバイス, 指導をする。特に 協力隊 隊員に 対し 卵卵器 及び 養鶏の 技術が 希薄。

- ① 州畜産課 獣医師 (ドクター 少ないので 社会的地位は高い)
- ② 犬、猫、小動物から 牛 豚 等の 大動物までが 対象
- ③ 診療所の スタッフ から ワクチン 注射 には 対応している者も いる
- ④ 診療 (往診 含む) に 必要 な 器材 は 一応 そろっているが ワクチン 等 薬品 は 不足 気味
- ⑤ スワヒリ語
- ⑥ 他 の 外国人 は いない。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

当国の 家畜 保有数 は 多く 国の 経済 にも 大きな 影響 力を 持っている。他方 その 飼育、診療、予防 に 携わる 技術者 は 少ない。特に 獣医師 は 少なく タンザニア 全国 で 100 名 程度 しか いない。より 多くの 技術者 を 育成 せねば ならない 状況 である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学卒で 獣医師 免許 取得者
実務 経験 2 年 位 が 望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

135 獣 医 師

記入昭和 55年 4月 / 日

調査者氏名 奈良輪睦美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ザンビア	(現地公用語) Veterinary Officer	(男) 1人	訓練開始 55年10月
	(日本語) 獣医(小動物)	(女) 2人	派遣予定 56年2or4月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56年7月迄に現地到着のこと

- (1) 配属先 Ministry of Agriculture and Water Development
1. 配属先名称 (現地公用語): Department of Veterinary and Tsetse Control Services
(日本語): 農業水資源省 獣医及ツェツェ制御事業局
- ロ. 隊員勤務先名称: Provincial Veterinary Office 日本語名称 (州獣医事務所)
所在地: ILKAL (交替) KALAK (交替) 主要都市からの距離 (より キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 同局はザンビア全土に8箇所をたす地獣医事務所を有し、病理解剖を主とし、診療、ワクチン接種及び寄生虫検査等の業務を行っている。一方ILKAL郊外に新中央研究所が1979年に完成し、病理鑑定、組織切片の鏡検培養、細菌検査を行っている。獣医師約26名(外コントラクター) 牛150頭、ヒツジ、ヤギ28万頭。
- ニ. 設備概要: 小動物診療室1、検査室1、解剖室1、狂犬病隔離犬舎1、犬舎1、その他あり。1979年協力隊事務局より特別機材貸与として家畜衛生検査用機材が寄贈されている。一応の設備はあるが機器については修理の必要あり。
- (2) 隊員の業務内容: 尚、ILKAL診療所にはX線装置が協力隊事務局より1979年に寄贈されに

主に小動物診療室にて犬、猫などの疾病の診断と治療、手術を行なう。(ILKALの場合は休・祝日に午前9:00-10:00の出勤がある) X線による疾病判定(ILKAL)及び現地人スタッフの教育、解剖室にて小動物、鶏類の検体及び病理解剖、狂犬病の疑いのある動物の隔離、確定検査、死亡後の脳材料採取。大動物診療は他の獣医師が行なっているが不在の際には臨時に診療、妊娠鑑定、処女等の授与、病理解剖を行なうこともある。又、手術その他特殊例の際は他の獣医師(大動物)に同行し、補助を行なう。事務的業務としては家畜移動許可証、輸出証明書(動物、象牙、皮、その他)の発行を行なう。農場等への訪問診療等もあり、飼育への助言を行なう。各種ワクチン接種。

- (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 外国人コントラクターの帰国に伴うヒカリ替之要請として1978年より継続して派遣しているがザンビア獣医師の不足と家畜の病気が多いこと、又、前任隊員の努力と業績が高く評価され、さらに協力隊事務局からの特別機材貸与があったことでもあって獣医局の協力隊獣医師に対する期待は大きい。

- (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
大卒、獣医師免許必須(女子)、小動物に関する知識及び診療経験3年以上。ILKALの場合はX線操作が出来ること。大動物に関し一般的知識及びある程度の経験と有していること。英語力(専門用語)必須。車庫免許取得のこと。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 4 月 / 日

135 獣 医 師

調査者氏名 奈良輪睦美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ザンビア	(現地公用語) Veterinary Officer	(男) 2 人	訓練開始 55 年 10 月
	(日本語) 獣医(支動物)	(女) 人	派遣予定 56 年 2 月 4 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56 年 7 月迄に現地到着のこと

- (1) 配属先 Ministry of Agriculture and Water Development
1. 配属先名称 (現地公用語): Department of Veterinary and Tsetse Control Services
(日本語): 農業水資源開発省、獣医及ツツエ制御事業局
- ロ. 隊員勤務先名称: Veterinary Office (1名...交替) ザンビア (日本語名称)
- 所在地: Veterinary Office (1名...新規) イソカ の主要都市からの距離 (より キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 同局はザンビア全土に8箇所を主たる地獣医事務所を有し、病理解剖を主とし、診療、ワクチン接種及び寄生虫検査等の業務を行っている。一方サカサバ外に新中央研究所が1979年に完成し、病理鑑定、組織切片の鏡検、培養、細菌検査、毒検査を主に行っている。牛150万頭 ヒンズヤキ 28万頭
- ニ. 設備概要: 1979年に協カ隊事務局より特別機材提供として家畜衛生検査用機材(顕微鏡、遠心分離器、孵卵器、蒸気滅菌器、乾熱滅菌器、嫌気性菌培養器、蒸留器)が寄贈されている。この設備はみるか機器によりは修理の必要あり
- (2) 隊員の業務内容: 又、薬品類(ワクチン・注射液・消毒液)が不足している。地でも薬品はみるか充分とはいえない。

ザンビア獣医師6名(獣医局長と含みほとんどの管理職にみるか、現場の仕事はしない)、外人コントラクター約20名がおり、獣医大学のない現在、外人コントラクターはボランティアにたよっている。この国全体としては最低30名の獣医が必要とみるか。隊員は各地の獣医オフィスに配属され、オフィスの長的存在となる。仕事は家畜の診療(農場への往診、診療所での小動物の診療)、病理解剖、ワクチン注射、寄生虫検査、血液検査、牛の妊娠鑑定、事務的業務(局長への英文報告書作成)等。家畜は主として肉、牛、羊、山羊、豚、鶏が対象となる。

- 配属予定地: ① センガ... 2名 隊員の交替
② ペンケ... 1名 イソカ... 新規

機材: 業務に必要な大動物用解剖器具一式(最小限)は携行のこと。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 外国人コントラクターの帰国に伴う切り替え要請として1978年より継続して派遣しているがザンビア獣医師の不足と家畜の病気が多いため、又、前任隊員の努力と実績が高く評価され、さらに協カ隊事務局からの特別機材提供がみられたこととみるか、獣医局の協カ隊獣医師に対する期待は大きい。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 大卒、獣医師免許必須(男子)。大動物に関する知識及び診療経験3年以上。外人コントラクターが多い為と毎月英文レポートの提出がみられるため英語力(専門用語)が要求されている。地へ単独赴任することとみるか、当然のことながら強じんな精神力と定着性が要求される。単身及び普通車運転免許取得のこと。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 4 月 日

農業協同組合

調査者氏名 ^{在パラグアイ国} 海外駐在員 望月 久

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
PARAGUAY	(現地公用語) COOPERATIVA AGRICOLA	(男) 1 人	訓練開始 55 年 10 月
	(日本語) 農業協同組合	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 56 年 2 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 Presidencia de la República

イ. 配属先名称 (現地公用語): Secretaría Técnica de Planificación

(日本語): 大統領府企画庁

ロ. 隊員勤務先名称: Centro de Desarrollo de la 日本語名称 (地域開発センター)

所在地: Paraguari Comunidad (CEDEC) 必要都市からの距離 (首都より 80 キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

企画庁が主催する地域開発計画の一環として、パラグアイ県、ネラル、ベルナルディノ、カバリエロ地区がモデル地区に指定され、地区住民の生活向上、インフラ整備等を当面の目標とし、1980年から各種事業が推進されることになっている。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位 - 指導員

② 技術の範囲 - 発足後間もない農工業協同組合に対し、組織の強化、運営、経営等、組合活動に関する一般指導を行なう

③ 業務の形態 - 現在組織されている 24 戸の組合員に対し、組合基盤の強化を目的とした具体策の立案、適性農業分野の指導等に従事する。巡回指導を通じ各種相談事にも応ずる。

④ 対象者及技術水準 - 一般農家を対象。技術レベルは初歩的段階と考えて良い。

⑤ 利用できる機材 - ほとんどなし。

⑥ 現地人員の配置 - なし

⑦ 使用する言語 - ス페인語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

本計画は、1975年以来、政府部内で各種予備調査が行なわれ、1980年の実施に移されているものであり、いわゆるパイロットプロジェクト的性格を有するものである。近年、国内開発計画との関連もあり、地方農村の開発、住民の生活向上策が模索されている現況下において、本計画の推進、成否は、他の計画にも影響を与えることと必要であり、我が国協力の大きな期待が寄せられている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

学歴は問わない。但し、組合活動につき幅広い観察から協力し得るよう、実務経験者(3年以上)が望まれる。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 3月 20日

14003.

調査者氏名 平川 潔

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ガーナ	(現地公用語) Community Development Worker	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 村落開発普及員	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 2人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語):

(日本語): 地方行政省 セントラル州

ロ. 隊員勤務先名称: 地域開発事務所管下。村落
所在地: 未定
日本語名称 ()
主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

1. ガーナ中部の森林地帯の小村(人口500人位)で生活改良、環境改善等を含んだ Totalな村の開発に従事する。
2. 水道、電気等、文明に劣る森林の小部落内に住民と同レベルで生活し、環境等を利用して、生活改善に向け、又、住民に生活向上意識を芽生えさせる刺激役となる。
3. 専門的知識は必要ないが、ゆたか自然を知り、その自然の利用と改善の熱意が、特に子供達(3才~12才)に対して、その利用と改善の方法を指導できること。例えば簡単な竹細工(竹は豊富にある。)の指導、食料保存法の指導、植樹の指導、野菜栽培の指導、材の利用法等自然環境を利用して、生活改善の刺激となり得ること。
4. 村の開発に必要な経費のからな方法による開発計画の作製、住民の意識の向上、より文化的思考の導入等と村のテフ(家表)と支に実施する
5. UNICEF、ガーナ大学、Ministry of Cooperative & Social Welfareの協力の下で実施する。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ガーナ大学子カカ厚部の文化人類学者である Mrs. Sutherland 女士(作家詩人)の村落開発への大きな希望と共に、ガーナの新たな (ガーナ人) 発展に向けて期待を寄せられている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- 1. 身体健康なこと (水なし、電気なしの生活)
- 2. ボランティア性を持って創意工夫を秀でること。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 4 月 10 日

150 食品加工

調査者氏名 松尾 邦義 (印)

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
シリア アラブ共和国	(現地公用語) Food-chemical analysis (日本語) 食品化学分析(加工)	(男) 1 人 女 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture and Agrarian Reform
(日本語): 農業農村改革省
ロ. 隊員勤務先名称: ドゥマ中央農業試験場 日本語名称 ()
所在地: Douma 主要都市からの距離 (ドゥマより 20キロ)
ハ. 事業規模及び内容: (詳細は 4. 附. 55-5号の送付された説明書参照せよ。)

ニ. 設備概要: 食品化学分析, 加工のための設備は一通りそろっている。

(2) 隊員の業務内容:

(主) として; シリア産の果実 野菜 (トマト, レタス, エンドウ, オクラ, タマネギ, マッシュルーム等) に用いたカーブブレンダー, カミミワロケルター, スパウトロブレンダーを使用しての産物重量の重量分析, カルシウム, 鉄分, 灰分等の成分分析 についての技術指導

(特) として; ① 送付した電話 カン話 貯蔵技術に関するアドバイス
② 主要果実 野菜の乾燥(干物化)についての問題の解決
③ 冷凍食品保存 冷蔵 振替の工程の肉野菜の調査
④ 特におりーの 菜肉と塩漬に関する調査
⑤ 食用中口穀の栽培の可能性について 生産環境条件の調査
⑥ 植物油の抽出に関する調査
⑦ 各種食品加工の生産改善 設備 技術の調査に関する調査
野菜園芸研究科と協力し、食品の園芸 量産 品質、貯蔵に関する調査を行うこと。

・技術伝播の経験と基礎知識とを有する農業技術者。 ・言葉は英語が中心

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

期待大

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

上記(2)の(主)が必須条件、(特)の(主)が可能な人。(男4名)

4年新大学卒 実務経験3年、農業系職員の農業大学の食品加工学科又はその類似学科の卒業生。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

1.- PRODUCTOS LACTEOS 150 食品加工 記入昭和55年 3月 20日
 2.- ENVASADO DE CARNE
 3.- PANADERIA Y CONFITERIA 調査者氏名 在ホンデュラス調査員 鶴巻法岳

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
REPUBLICA DE HONDURAS	(現地公用語) PROCESO DE ALIMENTOS	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) ①乳製品 ②製菓・製パン	(女) 人	派遣予定 年 月
	食品加工	(どちらでも可) 2人	受入期限 81年2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 INSTITUTO NACIONAL DE FORMACION PROFESIONAL 国立職業技術庁

イ. 配属先名称 (現地公用語): CENTROS FIJOS Y CENTROS MOVILES

(日本語): 職業技術訓練センター

ロ. 隊員勤務先名称: 日本語名称 (職業技術訓練センター)

所在地: JUTICALPA, CHOLUTEGA Y LA PAZ 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 国立職業技術庁(INFOP)は国家開発計画に基づき産業振興の基礎となる人材の育成(技術・技能者養成)を目的として設立され、1979年より本格的な活動が開始された。

テラカンプには INFOP 本部があり 国内2カ所に 職業技術訓練センター 3カ所に 農業技術センターを有する。

ニ. 設備概要: 農業部門は中部 La Paz, 東部 Juticalpa, 南部 Choluteca の3カ所のセンターにて教育指導が行われている。設備は国内企業からの拠出金、国庫、西ドイツの援助により約8割は整備されている。

(2) 隊員の業務内容:

隊員は上記3カ所の農業技術訓練センターを中心に農家の子弟(15才~18才の青年)及び農民に対し食品加工(乳製品、食肉、製菓・製パン)の理論・実習指導を行うもので必要に応じて農家工場への巡回指導、地方講習会を実施する。国内中部、東部、南部地区は特に教育が盛んであるが農家には子弟を農業高校で学ばせるだけの経済力はなく、経験による技術には限界があり、地場産業育成のための技術者養成が政府の最大の課題となっている。INFOPは一般民衆のための技術教育機関で、中心にたっている青年部門は小学校卒業者が入学試験を受けれるシステムになっている(1クラス15人編成、3年制)

① 隊員の業務上の地位 = 農業技術訓練センター教師、改良普及員

② 技術の範囲 = 指導対象者が農民とその子弟(小学校卒の学歴)であると3カ所から高度な技術は必要としないが、実務経験が最低3年は必要となる。牧畜業に関する基礎知識及び衛生、保健、管理の知識も指導に不可欠である。教科書、教材の作成、調査、実験も課せられ、授業計画(年間、講習会)も現地事情に合わせ立案する。

③ 業務の形態 = 訓練センターの時間割、午前7:00~午後3:00(青年部門) 午後6:00~8:30(農民再教育)

④ 対象者 = 農民とその子弟。カカターパチには同僚の教師が予定されており現地側教員の育成も要請されている。

⑤ 現地で利用できる機械 = 指導に必要な機械は8割程度整っているが教科書、マニュアル類が乏しい。基礎指導書を携行の上、米帰後隊員自身が調査し現地に合わせた指導法を考案する。

⑥ 専門家に外国人の配置。ラパスセンターに西ドイツ専門家(食品加工ではない) ⑦ 使用言語 ス페인語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ホンデュラスは農業を基幹産業としており人口の3分の2が農業に従事、牧畜は全農業生産の15%を占める重要産業である。農民の技術向上による品質、生産量の向上への期待は大きい。隊員の地道な努力の積み重ねによる協力が最も望まれる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

高卒でもいいが大学卒が望ましい。実務経験3年以上は絶対条件。乳製品、食肉については牧畜業の基礎知識を有するもの。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

又は { Planting
植林

{ Silviculture
植林

記入昭和 53年 3月 19日

調査者氏名 山口 廣治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア (サバ州)	(現地公用語) Re-Forestation	(男) / 人	訓練開始 53年 10月
	(日本語) 再植林 研究員	(女) 人	派遣予定 54年 2月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Forest Department Sabah

(日本語): サバ州 森林局

ロ. 隊員勤務先名称: Forest Research Center 日本語名称 (森林研究所)

所在地: Sepilok Sandakan Sabah 主要都市からの距離 (砂朥越より 25キロ)

ハ. 事業規模及び内容: サバ州唯一の森林研究所で 10部門と 100人程のスタッフ
が居る。造林部は 12名のスタッフ。5年前に新設された研究所
で設備は一通りの整ったが、細部は調整中

ニ. 設備概要: Lakedatu (ラハダト) に大植林プロジェクトのための支所
があり、スタッフ 5人程が働いており、一通りの設備はある。

(2) 隊員の業務内容: 土着のフタバカキ (ラワン材の原木) の生産増加及び維持に

ついては森林局として常に考えている事であるが、野生フタバカキを使った
再生植林や他の物を使った再生植林等もはなはだしい。木材搬出
による損害を受けている。しかしながら、これは対策として大植林計画は
まだ更なる段階であり、この実施の十分な成果を成し遂げる必要がある。
隊員はこれら再生植林計画のマネージメントを行なう。年間 500,000以上の苗木を供給する
長期苗木場も設置し、且つ植林計画の設計をしてもたぬに、植林
の監督も行なう。その時は全体的に 30~40人の人々を使う事になる。

1. 地位 - 上記研究所 研究員

2. 技術の範囲 } 現在土着原木ネムの木、ユーカリ、カリヒヤマツ、ワカフタバ等と

3. 業務の形態 } パルマ材及びラワン材として植林計画 実験の段階であり
植林についての研究とその実施を行なう。

4. 機材 - 一通りの機材はある。着任後検討の余地あり。

5. カリ国人 - 造林部には居ないが、カナダ人 (ホ) (土壌) 日本人 (博) (昆虫学) が居る。

6. 対象者 - 部長 Mr. Domingo Chai マリヤ大学卒、及び 5人の Assistant (20才~25才)

7. 使用する言語 - 主として英語、時々マレー語を要するも現地に 7 学習可。
(英語話はいかに上手) (基礎を日本で自習しておいた方がいい)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: サバ州は (林木) によって経済が潤っておりその
生産基盤は開発の爲の人材が不足し業務進行がスムーズでない。
故に海外からの中堅技術研究員の支援が待た望まれている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

森林植林、造林関係の学位をもち、植林植林についての実務経験
が 2 年程ある人が望ましい (特に学位にはこだわらない)

(取得)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

160 森林経営

記入昭和 53 年 3 月 18 日

調査者氏名 山口 廣治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア (サバ州)	(現地公用語) Forest Management	(男) / 人	訓練開始 53 年 10 月
	(日本語) 森林経営	(女) 人	派遣予定 54 年 2 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Forest Department Sabah

(日本語): 森林局 (サバ州)

ロ. 隊員勤務先名称: Forest Department Sandakan 日本語名称 (サンダカン森林局)

所在地: Sandakan Sabah

主要都市からの距離 (サハ州より 2 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 森林局本部は、スタッフ 50 人程度の大きさで、サバ州内の産出する木材の管理、統制を行なっている。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

森林局の集約的森林経営を推進する専門的 林務官 (森林監督) としての業務とする。業務は

- ① 伐採後の再生林の観察及び調査
- ② 再生林の立木調査

1. 地位 - 森林経営の林務官

2. 技術の範囲 - 森林経営に係る伐採後の再生林の観察及び調査

3. 業務の形態 - 及び立木調査を主とする。森林経営の部門には他に地図製作課、記録課等がある。

4. 対象者 - 森林経営部長 Mr. I. H. Sarin 氏 50 人のスタッフ (B.S.C. オーストラリアの大学卒業)

5. 機材 - 一部の機材はある。Cartographic Equipment (地図製作機材等)

6. 邦国人 - 現在はいない。

7. 使用する言語 - 主として英語。多少のマレー語を要するも現地に学習可 (日本で基礎だけでも自習しおこなうかへ)

(英会話を少しはしっかり訓練しなさい)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 森林経営については広範囲に渡るためスタッフ

や人材が不足しており、サバ州内の林務業務が不十分であり、また技術的改善の機会が少なく、ここに日本中堅技術者を迎え、林務業務の推進と技術改善を計りたいと願っている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○ 森林経営についての学位を修め、林務業務についての実務経験のある人物が望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 54 年 8 月 2 日

160 森林経営
160 森林経営

調査者氏名 山本 泉

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール	(現地公用語) Forestry	(男) 2 人	訓練開始 54 年 10 月 2 月
	(日本語) 森林経営	(女) 人	派遣予定 55 年 2 月 7 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Department of Forests, Ministry of Forests
(日本語): 森林省, 森林局

ロ. 隊員勤務先名称: the Community Forestry Development Project 日本語名称 (地域共同体森林開発計画)
所在地: 上記 project の Forest Division 7ヶ所のうち1ヶ所 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 本プロジェクトは、政府の新森林政策としてネパール森林省が国連(FAO)の技術協力と世界銀行の財政援助により 1977年7月から始める地域共同体森林開発事業4年計画(第1期)である。計画では当国の28地区(district)にまたがる17管林署が各担当地区の森林開発事業を遂行することになり、そのうち下記7ヶ所(管林署)が

設備概要: 国連の associate expert 及び各国ボランティアに任せられる。: Ilam, Okhaldhunga, Sindhuli, Pokhara, Baglung, Dadi, Baitadi.

(2) 隊員の業務内容:

- ① 隊員の業務上の地位: ネパール管林署職員を指導する立場で、国連の Associate Expert と同等。
- ② 技術の範囲: 林業普及、養樹、再植林
- ③ 業務の形態: (a) パンチャヤット単位の森林開発事業の計画、遂行、(b) 管林署及びパンチャヤットにおける養樹の管理、運営 (c) 管林署スタッフ及びパンチャヤットの林業普及員への指導 (特に、住民参画の促進、森林保護、再植林、森林経営について) (d) プロジェクトの村落共同体における効果測定
- ④ 対象者、ターゲット: パンチャヤット(村、部落)の林業普及員及び地元住民が対象で、ターゲットは管林署スタッフ。
- ⑤ 利用する機材: 不明、但し、必要機材は、国連、世界銀行から供与される。
- ⑥ 才力: FAO技術顧問(日本人)、他、欧米の associate expert, volunteer が予定されている。
- ⑦ 使用言語: ネパール語

ネパールでは1957年の国有林化のとき、民衆は森林事業には事実上積極的関与はできなくなった。かきかて政府は森林資源の保全・保護に民衆の参加が得られれば森林資源が枯渇に至るとの認識に戻り1977年ネパール森林政策史上初の森林条例の修正を行った。すなわち「パンチャヤット保有林、パンチャヤット保護林」という地域共同体の維持・管理に在る民有林に近い新しい形として生まれたものである。本プロジェクトの目的は、ネパール地域社会の生活向上を計る長期にわたる国家政策のもと、山間部地元住民の参画によって、燃料用の薪、家畜用飼料を生産し、さらには土壌の流出、土砂崩れで荒廃している山林を復旧することである。これが究極的にはネパール山村地域住民の労働力、自然資源の最大限の

(3) 受入希望の背景と受入国の期待

利用となりネパール社会全体の社会・経済の発展に寄与することになるとしている。
森林省としては本計画の遂行にあたり、技術面では国連(FAO)、財政面では世銀からの援助を受けているが、技術者として国連の associate expert 及び各国 volunteer に参加を求め、各管林署での民衆と密着した現場業務への協力を要請している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○ 林業の実務経験(2年)・地域開発への関心、意欲のあること。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和55年3月30日

170 漁具 漁法

調査者氏名 倉持 繁 (印)

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
3119	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 55 年 10 月
	(日本語)	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 56 年 2 月 受入期限 56 年 2 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): المؤسسة العامة للأسماك فرع الصيد البحري بالادقية
- (日本語): 農業農地改革省 水産公団 ラタキア支所
- ロ. 隊員勤務先名称: 水産公団 ラタキア支所 日本語名称 ()
- 所在地: ラタキア市内 主要都市からの距離 (より キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 水産公団 唯一の海面漁業支所 250ト 漁船 3隻
20ト 漁船 6隻

ニ. 設備概要:

250ト 漁船 (360HP 産卵網・採卵兼用船) 3隻
20ト 小型船 6隻

(2) 隊員の業務内容:

隊員の業務上の地位

支所に配属され 必要とされる際は乗船する。
陸上では支所スタッフ 海上では船長待遇とする

技術の範囲

日本における同規模船 100~250ト級の漁船の船長と
同レベルに達する技術が必要とされる。
具体的には トロール漁法、採卵漁法の知識、技術、
及び 船内管理、運用、海上法規等に関する知識。
又 採卵、採卵網、延縄漁法 (小型漁船による) に関する知識。

スタート

なし

使用する言語

乗船時は アラビア語
支所においては 英語の使用可

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

3119国において 又当水産公団において 漁業に関し 豊富な経験 技術
を有する者が少ないので 当隊員の派遣は 熱望されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- 水産高校 漁業科 専攻科卒 この場合 乗船 履歴 5年以上 又は
- 水産大卒 " " この場合 乗船 履歴 3年以上

○ 海技免状 乙種船長 (甲種=単船海工以上) は絶対条件

○ (半年間の技術研修) ⁷¹ 1981年の8月~10月派遣

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 3月 15日

170 漁具 漁法

調査者氏名 名倉尚志

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
コスタリカ	(現地公用語) ARTE DE PESCA	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 漁具 漁法	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): UNIVERSIDAD DE COSTA RICA

(日本語): コスタリカ大学

ロ. 隊員勤務先名称: Division de Pesquería y Nautica 日本語名称 (コスタリカ大学水産学部)

所在地: PUNTARENAS

主要都市からの距離 (首都より120km)

ハ. 事業規模及び内容: 本学部 (2年6ヶ月制) は 1979年に新設されたもので、将来当国の水産関係官公庁の職員及び船舶幹部職員を養成する機関である。

ニ. 設備概要: 校舎 (1棟) 及び 若干の書籍のみ。その他は整備中。

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位: 大学教授

② 技術の範囲: 以下の学科目について教授する

(イ) 漁具学 (漁具材料, 漁具物理, 設計法)

(ロ) 漁法学 (曳網, 旋網, 刺網, 延縄, その他)

(ハ) 漁具実習 (漁網製作, 修理等)

③ 業務の形態: 主に大学にて講義を受け持つ

④ 対象者: 高等学校卒業生

⑤ 現地で利用できる材材: 現在のところなし

⑥ 日米専門家: 現在のところいない

⑦ 使用言語: スペイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

本学部は昨年新設されたため教官が不足しており、教授陣の充実が急がれている。特に水産先進国である日本の水産教育に情熱を燃やす有能な青年を期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○ 大学水産学部 漁業学科 卒業生で 漁具漁法学 もしくは 漁撈学 を専攻した者。大卒以上。

○ 漁具漁法学 もしくは 漁撈学 以外の学科目を専攻 (卒論等) した者は不可

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 3月 27日

170 漁具 漁法

調査者氏名 伊藤英明

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
トンガ王国	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 56年 2月
	漁具漁法	(どちらでも可) 人	受入期限 56年 2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture, Forests & Fisheries
 (日本語): 農林水産省

ロ. 隊員勤務先名称: Fisheries Division 日本語名称 (水産局)
 所在地: Sapa, Nukualofa 主要都市からの距離 首都より (キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

3700船1隻(200GT), カツオ船2隻(23GT級)他小型艇数隻を有し, 首都
 2700に本局及び研究所の, ハービー, バビウ両島に支店を持つ。

ニ. 設備概要:

- 漁, 水産業場及び養殖研究に支障を及ぼす程度は設備あり。

(2) 隊員の業務内容: 水産局所有のカツオ船に乗船し, カツオ一本釣漁法の指導に
 当たる。その他, 定置網漁法も導入している。網セッティング, 修理等の技術
 指導も行う。

① 業務上の地位: Technical Section に 2階級になる。

② 技術の範囲: カツオ一本釣, 定置網セッティング, 生餌採集(網), 網修理,
 小型旋網の採集(予定)。

③ 業務の形態: カツオ船乗船を主としてその他小型艇による採集。

④ カウンターパート: 上級公務員経験レベル程度の Fishermen, 18才~20才

⑤ 利用可能な材料: 上記(1), (2) 記した漁船のみに定置網(小型, 400網)
 3セット, 棒受網2セット, 刺網等。

⑥ 本国人及び日本専門家の配置状況: フォリンズビル・フィッシャーズ・オフィサー (英国人)
 テラカレ・オフィサー (JICA専門員)

⑦ 使用する言語: 英語, トンガ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

昭和49年, 最初の漁具漁法隊員が着任して以来, カツオの漁獲高は
 年々増加しており, 協力隊に対する期待度は非常に高い。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大卒, 実務経験1年以上。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

新保昭治

171 養 殖

記入昭和 55年 1月 10日

調査者氏名 枝 浩 樹

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン 共和国	(現地公用語) Fish Culture Specialist	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) (Agriculture Specialist) 養殖(海水)	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 1981年 2月 受入期限 1981年 2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Bicol University, College of Fishery
(日本語): ビコル大学水産学部

ロ. 隊員勤務先名称: Bicol University, College of Fishery 日本語名称 (ビコル大学水産学部)
所在地: Tabaco, Albay Philippines 主要都市からの距離 (カティバより27キロ)

ハ. 事業規模及び内容: ビコル大学水産学部 増殖研究室において 大学スタッフとともに
研究・実験を進めよう

ニ. 設備概要: 実験室 (1980年6月完成予定) 2ha 実験養殖池 (海水) 実験研究に必要最低限
材はそろえている

(2) 隊員の業務内容:

- ① 隊員の業務上の地位 Research Consultant (講師) ② 技術の範囲, 甲殻類の増養殖に関する総合的知識が必要. 特にフランクの培養など重要なポイントとなる.
- ③ 業務の形態. ワニエヒ, オニテガヒ, ドロガニ, ボラ等の養殖実験を行なう. 下学での協力活動であるから当然 学生及び先生への技術の伝達ということが必要である. しかるにあくまでこの大学を拠点として養殖の普及を考えていかなければならぬ.
- ④ 対象者及びカウンタワーマの技術水準, 学歴及び年齢: この項に関しては特に必要はない. ほぼなすばすババが対象者であるからである. 特に62才ならば フィリピン大学水産学部卒業の生手が2人同輩の所にいる 年齢は 34才及び 52才である.
- ⑤ 現地で利用可能な機材, 現隊員がある程度そろえたので 機材に関する心配はない.
- ⑥ 職場に於ける中3国人及び日本専門家: 今年6月ごろ イギリスボランティアが来着の予定.
- ⑦ 使用する言語. ⑧ 英語. ~~英語~~ ビコル - 1. タバコ

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

現校 枝樹 隊員の交替として
ビコル大学水産学部での種々の実験, 研究を通じて 地域住民に貢献したい
と考えている.

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学卒業生 (25歳以上 30歳以下) 実務経験の必要なし. 卒業後すぐの年代仕事上より
年齢は 25~30才程度なら可いかなし.
隊員に要求される技術. ① 海水養殖の経験者. 特に甲殻類に関する知識と有ること. フランクの培養等完全に取得していること. 講義も持つことがあるため 受給も必要

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 3月 19日

171 養 殖

調査者氏名 新 佐 昭 三

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 58年 7月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Don Mariano Marcos Memorial polytechnic state college
 (日本語): ドン・マリヤノ・マルコス 記念州立工科大学

ロ. 隊員勤務先名称: 同 上 日本語名称 (同 上)

所在地: Cagayan de oro city Misamis 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 本大学の規模はフィリピンでは中程度の大学で生徒数約1700人である。これ他に姉妹校が6校あり、その中4校は水産学科があり、漁具漁法養殖は中心に教育を行っている。

ニ. 設備概要: 設立後日未だ浅く養殖に關する設備は少なからず。隊員に下す計画に沿って、関係施設を整備していくとしている。

(2) 隊員の業務内容:

隊員は本大学で授業と12姉妹校をへて行き、水産学科全般に亘るPTAを行くと共に特に養殖に關する技術指導を行う。

隊員の業務上の地位: Instructor, Technician に亘る技術指導 Teaching Staff
 技術の範囲: 最初の隊員派遣があり今後数名の漁業隊員が欲しいと云われており、この等漁業一般に精通している他に、海水養殖に亘る一般的知識が必需

業務の形態: 大学内に於ける関係者への技術指導
 対象者及びそのレベル: 大学の Instructor 及び Technician であり、殆んどが同種の大学卒であり、25%~45%前後、技術水準は一般的に低い。

現地に利用可能な機械: 練習船(20万)の他に、隊員の指導を得るから必要資機材を購入していくとしている。

使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

本大学及び姉妹校が若く充実している学科があり、学長から数人の同種隊員の派遣を口頭で要請されてあり、隊員に亘る期待は非常に大きい。しかし施設は未整備であり、今回取り敢えず1名の隊員を遣入し、今後増員していく。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

水産系大学卒 年齢 25歳以上、当該分野に3年以上の経験者

55年3月27日現在非公表
 以下の要請準備中
 (公文)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

171 養 殖

記入昭和 55年 3 月 17 日

調査者氏名 山口 廣 治
 山崎 亮

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
マレーシア (サバ州)	(現地公用語) Fish Culture	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 淡水養殖	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

イ. 配属先名称 (現地公用語): SABAH FISHERIES DEPARTMENT

(日本語): サバ州水産局

ロ. 隊員勤務先名称: KENINGAU FISH BREEDING STATION 本語名称 (ケニカウ水産試験場)

所在地: KENINGAU SARAH. 主要都市からの距離 (キロ)

ハ. 事業規模及び内容: サバ州に5箇所ある淡水魚水産試験場の1つでサバ州の中央部に位置する。スタッフは所長以下9人が運営し、お役所及び技術指導を行う。池は17面持ち、種苗生産、教本配布、養魚家への技術・病理相談が主な業務内容

ニ. 設備概要: オフィスは1町にあり、Stationは町より3km離れた場所にある宿舎及び17面の池、桧材小屋等あり現在、卵化室の新設を試みている。

(2) 隊員の業務内容:

- ①地位 --- OFFICERであり (淡水養殖の指導技術)
- ②技術の範囲 --- 池の製図から、適所の決定を行ない、産卵については、魚卵、フラスコ
- ③業務の形態 --- マレーシア、ナマスの産卵法を確立させたのが目的。特に今後は、ナマスの人工採卵を中心に進めようとしている。現在山崎隊員が卵化室の新設を試み、その技術についての定着を計る事が必要となり、そして現場での業務指導及び一般養魚家への出張指導、オフィスでの計画書作成等。
- ④カウチーパート --- 所長 (Mr. CONNY) は KENINGAUに20年間務めた38才で、基礎知識は豊富で人物である。その他スタッフは21才から27才で、実務経験中。
- ⑤桧材 --- 桧材は乏しく、実体顕微鏡1台、その他魚網、標本瓶程度であり、自己で創製、改良が必要。K.K.に21必要な物は購入可。
- ⑥カワコ --- 現在、協力隊員 (山崎亮 (淡水養殖)) が協力している
- ⑦使用言語 --- 英語 (業務上のReport、会議等は英語が主となり、日常生活はマレー語の使用が多い) ので、英語能力ある人はマレー語可。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ケニカウ水産試験場の主な業務はナマス養殖の開発であり、Sabahではこの水産試験場のほか、実験を行っている。水産局としては、外来種より安価で安定した蛋白質源として、内陸部でのナマス養殖の普及を期待している。成長率、飼料効率、産卵数の調査は済み、今後は産卵床、ホルモンの投与量の決定、初期飼料の開発が望まれている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
 1. 淡水養殖に関する知識及び実務経験がある事
 2. 人工採卵、特に脳下垂体ホルモン投与、フタトビカギ等のホルモンの処理が出来る事。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 3 月 10 日

171 養 殖

調査者氏名 表 伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Fish Culture	(男) 2 人	訓練開始 55 年 10 月
	(日本語) 171 養 殖	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 56 年 2 月 受入期限 56 年 2 月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

1. 配属先名称 (現地公用語): Directorate of Fisheries, Ministry of Fisheries and Livestock
(日本語): 漁業畜産省 漁業局

ロ. 隊員勤務先名称: Zangalia, Jessore, Chandina 日本語名称 (バングラデシュ、ジャソール、~~チッタ~~各種魚生産養殖場)
所在地: Fish Seed Multiplication Farm 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 漁業局は全国に 25カ所の種苗生産養殖場をもち、インド、タイ、マレーシア、フィリピン等の種苗生産を行ったり、稚魚を村の池等に放流し養殖の普及活動を行っており。

ニ. 設備概要: 各種魚生産養殖場は、80年よりスタートする 5年計画にて UNICEF 援助約 8,000 万円、JOCV 支援にて各施設拡充予定。

(2) 隊員の業務内容: 現在トギ養殖場に大西隊員がおり、過去自然産卵にまかせておいた稚魚生産を独自の孵化水槽建設、ホルモン注射導入等改善、その技術を全養殖場に導入すべく UNICEF が資金援助することとなり、隊員はその技術指導にあたる。

- 1) 隊員の業務上の地位: 場長と同格
- 2) 技術の範囲: 種苗生産及び普及に関する浅くとも幅広い知識
- 3) 業務の形態: 当面は各養殖場で行われる孵化水槽を含む施設拡充の指導が中心となるが、インドのホルモン注射による種苗生産法の確立、養殖飼料製作等の課題となる。
- 4) 対象者及びカウンターパート: 特定のカウンターパートは 11 名だが、場長と話し合えば決定される。
- 5) 現地で利用できる機材: 孵化水槽、宿舎、ポンプ小屋、タンク、倉庫等を整備する予定。
- 6) 取組における外国人: 10 人
- 7) 使用する言語: ベンガル語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 食糧増産計画のため、池、河川の多い当国において養殖は大きな意味をもっているが、資金難のため、単に自然産卵を待つという状況で、稚魚を供給できずにいる。UNICEF と JOCV の共同プロジェクトによる養殖場整備、それによる稚魚供給の飛躍的増大が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
ホルモン注射による種苗生産技術があること。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

171 養 殖

記入昭和 55 年 3 月 1 日

調査者氏名 大橋 元裕

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
シリア	(現地公用語) タルビヤト アルアスマルク	(男) / 人	訓練開始 S. 55 年 10 月
	(日本語) 養 殖	(女) 人	派遣予定 S. 56 年 2 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56 年 4 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

General Establishment for Fisheries.

1. 配属先名称 (現地公用語): アルモアササ アルアマ エルアスマルク

(日本語): 農務農地改革省 水産公団

ロ. 隊員勤務先名称: Mzareeb Farm

日本語名称 (ムズリーフ養魚場)

所在地: ムズリーフ

主要都市からの距離 (テラより 10キロ)

ハ. 事業規模及び内容: Common Carp と テラピアの種苗生産及び食用魚生産

1979年度 鯉種魚 50万尾、鯉、テラピアの食用サイズ 5ton 生産

3,000m² 兼掘り池 19 面、約 300m² セメント池 9 面。

ニ. 設備概要: 半流水式の飼育方法を取り、年間を通じ約 20℃の湧水をポンプアップして用
水にする。事業内容は未定である。今後、隊員が定めていく必要がある。

(2) 隊員の業務内容:

(7700274-6)

- ① 養魚技術者は一人もいない。技術をつけてほしいと任される。
- ② 上記半流水式池での鯉、テラピア飼育、鯉の種苗生産、水質管理、魚病のコントロール、オニテナガエビの種苗生産と養成試験
- ③ 通常 8:00 am. ~ 2:30 p.m. 金曜日と祝祭日が休み。
- ④ 現在、養魚知識経験をもちた者が一人もいないので、しかるべきカウンターパートを隊員に付ける様水産公団に専請した。
- ⑤ 自動給餌器 2 台 (日本からの援助)
- ⑥ 外国人専門家はいっさい関与していない。
- ⑦ アラビア語 と 英語

(2) 他国から

日本からの新魚種の導入。例えば、Tilapia nilotica (赤と黒)、オニテナガエビ、レニ魚、金魚、錦鯉等の養成試験を行ない、その結果有望視されるものをこの養魚場の事業内容に加えて行くという。開発も業務内容に含まれる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

1979年度より養魚技術者がいなくなり、事業が開始された。そして鯉の種苗生産場としてこの養魚場を用いたが、未だ事業内容は未決定である。水産公団の隊員に対する期待は非常に大きく、隊員の力次第でこの養魚場の機能が大きく生かされるであろう。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学卒業程度、東洋経験が2年以上は必要であろう。
○オニテナガエビの養魚経験者

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 3月 1日

171 養 殖

調査者氏名 大橋元裕

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
シリア	(現地公用語) クルビヤト アルアスマルク	(男) 1 人	訓練開始 55年 10月
	(日本語) 養 殖	(女) 人	派遣予定 56年 2月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56年 4月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 General Establishment for Fisheries

イ. 配属先名称 (現地公用語): アルモアササ アルアマ エルアスマルク

(日本語): 農務農地改革省 水産公団

ロ. 隊員勤務先名称: Zabadani Hatchery 日本語名称 (ザバタニ鱒工場)

所在地: ザバタニ 主要都市からの距離 (ダマスより 45キロ)

ハ. 事業規模及び内容: ニジマス種苗生産及び食用魚生産

300万尾の種魚生産、30頭のニジマス食用サイズの生産 (11ヶ月年間)

14.5°Cの湧水 600 l/sec をポンプアップして用水とする。

ニ. 設備概要: 7化室 カリフォルニア式 7化槽 46組、飼育槽 200cm x 50cm x 40cm 水深 200/10
円形水槽 98面、縦列水槽 42面、観魚者池 12面

(2) 隊員の業務内容: ① シリア人養鱒技術者が2名 (内1名は場長 Mr. ハサン、ハイ) いる

が知識経験共に不充分である為、隊員は技術に関する事はすべて任せられる。業務上の地位は高い。② ニジマス種苗生産、食用魚の生産、日常の養鱒場での飼育管理

③ 通常 8.00 am ~ 2.30 pm の勤務時間、全曜日及び祝祭日が休み、特別休暇年間

30日。④ 場長及び Mr. アマル、彼等は10ヶ月間、東ドイツでニジマス養鱒の研修を

受けて、後ザバタニ工場に勤務。⑤ カリフォルニア式 7化槽、Zoug glass、温度

調整器のついたシステム 7化器、顕微鏡、D.O. 計、簡便なニジマス選別器

⑥ 外国人技術者は私を除いて誰も関与していない。

⑦ アラビア語と英語。

場長以下、正真正面なスタッフがそろっており、職場環境は良い。とにかく自給の状態の当工場、やりがいのある仕事ができるであろうし、個人としても2年間よい勉強ができるであろう。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

1979年からイタリヤと日本から養鱒卵を導入して7化を開始した。まだ観魚を育て、採卵、採精を行っており、これだけの設備があるから、将来の可能性はまた未定である。隊員の技術指導に対し、当工場の運営を軌道にのせてやる必要がある。水産公団の隊員に対する期待は非常に大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○大学卒業程度、○少なくとも2年間の実務経験が必要であると思われる。

隊員に要求される技術水準は高く、隊員の技術が将来シリアでの養鱒の指針となるはずである。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 3月 3日

171 養 殖

調査者氏名 大橋 元裕

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
シリア	(現地公用語) タルピト アルアスマルク	(男) / 人	訓練開始 S 55年 10月
	(日本語) 養 殖	(女) 人	派遣予定 S 56年 2月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56年 4月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 General Establishment for Fisheries.

イ. 配属先名称 (現地公用語): PILEMASA ALMA ILPASMARUK
 (日本語): 農務農地改革省 水産公団

ロ. 隊員勤務先名称: Kalaath el Moudik Farm 日本語名称 (カラアムテーク養魚場)
 所在地: Kalaath el Houdik in Grab 主要都市からの距離 (ハマより 70キロ)

ハ. 事業規模及び内容: ① Kalaath el Moudik Farm ② Ain Taba Farm (タカ養魚場)
 ③ Shatha Farm (シャハ養魚場) ④ Roudje Farm (ルージュ養魚場) ⑤ 下川養魚場
 止水式で Common Carp, テラピヤ 草魚を混養飼育、種苗生産及び食用魚の生産。

ニ. 設備概要: ① 現在改造中、草魚の種苗生産地 ② 産卵池 36面、稚魚池 4面、肥育池 8面で
総飼育面積約 45ha ③ 産卵池 27面、稚魚池 11面、肥育池 27面(各 2ha)等 総飼育面積約 60ha

(2) 隊員の業務内容: ④ 産卵池 16面、稚魚池 18面、肥育池 12面(各 5ha)等 総飼育面積約 63ha

① 上記四養魚場の技術顧問的地位

② 鯉、草魚の種苗生産、止水式養魚法での一般的な飼育管理(水質管理、施肥方法、給餌及び魚病のコントロール)、カラアムテークにて、ムスリーフ養魚場と提携してオニテナガエビの養成試験

③ 通常 8.00 a.m. ~ 2.30 p.m. 金曜日と祝祭日が休み。

④ 各養魚場の主任クラスを相手に仕事をこなす。主任と言えども、養魚技術に関しては、鯉の種苗生産、魚病の診断治療が十分にできず、自分の経験と他人からの聞きかじりのみである。

⑤ 草魚種苗生産用のフ化器、仔魚飼育用タンク、顕微鏡

⑥ 約 20年前 FAO の専門家が、このカラアムテークにてシリアで初めて養魚を開始した。1976、77年の2回、北朝鮮の専門家が草魚の種苗生産を行っていた。現在、外国人専門家はいる。

⑦ アラビア語と英語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 20年来、養殖事業が盛んになってきたにもかかわらず、鯉の種苗生産は完全に成り立ってはいない。また、草魚の種苗生産は外国人技術者が指導してやらない限り不可能である。各々の生産量が約 300kg/年にとどまっている。つまり、シリア人の養殖技術者の不足から技術的な改善が求められ、上記の大規模な4つの養魚場全体の販売量が88年に 340t 程度であった。大々的な技術改善とシリア人技術者の養成が必要とされている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学卒業程度 (実務経験 少なくとも2年間は必要である。日本で溜池養鯉に従事した人であれば十分に応用がきくであろう。)

草魚、鯉の種苗生産経験者

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表



171 養 殖

記入昭和 55年 3月 4日

調査者氏名 大橋元裕

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
シリア	(現地公用語) シリア アルマスマルク	(男) 1 人	訓練開始 55年 10月
	(日本語) 養 殖	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 56年 2月 受入期限 56年 4月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 General Establishment for Fisheries

イ. 配属先名称 (現地公用語): アルモアサ アルマ エルマスマルク

(日本語): 農務農地改革省 水産公団

ロ. 隊員勤務先名称: Thoura Fisheries Laboratory 日本語名称 (サウラ水産試験場)

所在地: サウラ 主要都市からの距離 (ワドクより140キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 640 km²のアサド湖の水産利用を調査しており、連年に引続き西ドイツの援助で Limnology を研究している。アサド湖では現在漁業が行われておられるが、その水産利用の1環として1979年度より網生養による鯉養

ニ. 設備概要: 池が始められた。1980年に 4m x 4m x 2m の網生養を50面用い、本格的な養殖が始められる予定である。

(2) 隊員の業務内容:

- ① 網生養による養魚の技術指導を行なう。
- ② 網生養による養魚一般 網の設定、放養尾数の決定、給餌管理、魚病のコントロール
- ③ 通常 8.00 A.M. ~ 2.30 P.M. 全曜日。シリア祝祭日は休み。
- ④ '78年度に網生養が始められ、シリア人の対象者はほとんど網生養養魚を知らない。農学部卒のカウンターパートがいる。
- ⑤ ⑥ 西ドイツ人専門家数名が5年間に渡り、アサド湖での水産開発の為、技術援助を行って来た。1980年3月にて契約が切れ彼らは帰国する。機材は西ドイツの援助により、相当、当水試に入れられている。一応、日本の一般的水試に匹敵する備品が利用可能である。
- ⑦ アラビア語と英語

アラビア、ニジマス、網生養飼育も可能性がある。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

西ドイツ人が行って来た。網生養での養鯉試験から本格的な養殖事業を始める段階にて、外国人専門家が必要とされている。水産公団はアサド湖での網生養養鯉を成功させて、この方法を他の湖。(ホムス湖、ラスタンガム)にて利用する事をねらっている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○網生養養鯉の実務経験を積んだ人 ○大学卒程度

Priority No. 5

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

171 養 殖

記入昭和 55年 3月 4日



調査者氏名 大橋元裕

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
シリア	(現地公用語) タルビヤト アルアスマルク	(男) 1 人	訓練開始 S 55 年 10 月
	(日本語) 養 殖	(女) 人	派遣予定 S 56 年 2 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56年4月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 General Establishment for Fisheries
 1. 配属先名称 (現地公用語): アルモササ アルマ エルアスマルク
 (日本語): 農務農地改革省 水産公団
 2. 隊員勤務先名称: The headquarters of General E. for F. 日本語名称 (水産公団 本部)
 所在地: Jable ジャブレ 主要都市からの距離 5km 約 30 キロ
 3. 事業規模及び内容: 魚類の生産を目的に設立された機関であり、ラタキア支局、
 ガマスカス支局、サウラ支局、ガブ支局、ホムス支局での海面漁業、内水面漁業、
 養殖事業の総元締めである。隊員は本部の planning section と production
 4. 設備概要: section にせきをかく。約 50 名のシリア人スタッフが本部にて
 働いている。

(2) 隊員の業務内容:
 ① planning と production の二名のダイレクターに直接して業務に当たる。又この日本からのプロジェクトチームリーダーとして各事業所の隊員と公団本部との中継ぎ役。
 ② 水産増殖一般。魚病、種苗生産等、各養殖場からの要請に応じて、技術指導に赴く。シリアの水産開発を考え、日本からの技術協力態勢を整える。
 ③ 常勤 8:00 a.m. ~ 2:15 p.m. 全曜日、祝祭日が休み。
 ④ 水産公団総裁をはじめ各セクションのダイレクターもこの様にシリアの水産増殖を開発して行くが、技術面に関する知識が欠けている。シリア人の技術指導員(カウンターパート)も技術水準は低い。
 ⑤ 公団本部には顕微鏡(日本からの機材援助)のみ。
 ⑥ 外国人専門家はいる。
 ⑦ 英語 アラビア語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 水産公団も養殖に関する知識と技術の立ち遅れの理由から、各養殖場の施設に応じた十分な生産量が得られない事は理解している。従って、「シリア水産開発5カ年計画」に合わせた日本からのプロジェクトチームに対する期待は非常に大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
 大学卒業程度、実務経験 5 年程度、水産増殖に関する幅広い知識

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

171 養 殖

記入昭和 55 年 9 月 28 日

ザンビア

調査者氏名 奈良輪睦美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
ザンビア	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 55 年 10 月
	Fish Culture	(女) 人	派遣予定 56 年 2 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 56 年 2 月迄に現地到着のこと
	淡水養殖		

(1) 配 属 先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Land and Natural Resources

(日本語): 土地資源省

ロ. 隊員勤務先名称: Department of Fisheries 日本語名称 (水産庁)

所在地: P.O. Box 100, Chilanga 主要都市からの距離 (ワヤナより 18 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 水産庁チンガ中央研究所には全部で 32 の素掘りの池があり、又 28 の鶏用コンクリート養魚池がある。又、周辺には 6 つの人工池があり水源として利用されている。全国にはカワ、キトウ、ソルカジカサマ、マンサ等に養魚場がある。

ニ. 設備概要: 実験室、事務所、魚獲用曳き網、ボート、揚水ポンプ等がある。しかしながら測定器、水温計及び薬品類は不足している。

(2) 隊員の業務内容: ザンビアの養殖はティラピア類が主である。現在はその中でも

S. Andersonii, S. Macrochir, T. Rendalli の三種が用いられており、これらの餌料試験、肥料試験 (窒素、リン酸、カリ) が今後とも要請されている。

その他単一性養殖 (モノセックスカルチャー)、種間交雑種を作り、その可能性あるいは必要性について調査・研究することも重要な仕事となる。

現在 フェロスロバキアから魚の専門家が一名働いており、同国より魚の稚魚を移入することを計画中であり、成功すれば魚の養殖も業務の一環となる。

又、現在水産庁が力を入れている魚種としてラベオがあり、これはインド鯉の仲間で、ザンビアでは乱獲により、ルアンガリに限定的に生息している。昭和 54 年度にはホルモン注射による人工種苗生産を試みたが、みどりのところで産卵には失敗した。この魚は雑食性であり、成長も速く、美味であることから今後大いに期待されており、重要な業務内容となる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ザンビア政府は国民に対するタンパフ源の確保の観点から、魚の増殖に大きな期待を寄せている。当国は内陸国であるため水産資源としてはタンガニカ湖、カリバ湖等の湖と、ザンベジ川、カフエリ、ルアンガリ等の河川に依存している。これらの湖や川は首都から離れており、首都部では魚の需要があるにもかかわらず供給が困難である。従って養魚場では農民を指導することにより養殖業者が増加することを望んでいる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学の水産学科 (淡水養殖専攻) 卒、現場経験 3 年以上が望ましい。

ホルモン注射による人工種苗生産の経験、鯉、ティラピアの養殖経験のある者が望ましい。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 ⁵⁵~~54~~ 年 3 月 31 日

180 水産物加工

調査者氏名 齊藤正史

伊藤

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
西サモア	(現地公用語) Marine Products Processor	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 水産物加工	(女) 人	派遣予定 56 年 2 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56 年 2 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Economic Dep. Fisheries Dev.
(日本語): 経済省 水産局
- ロ. 隊員勤務先名称: Fisheries Dev. 日本語名称 (水産局)
所在地: APIA 主要都市からの距離 (より キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 水産加工品 (魚肉ソーセージ, サツマ揚げ, 水産缶詰) の試験的製造。

ニ. 設備概要: 日本政府の無償援助及び J.O.C.D 事務局から播漬機, 採肉機, レット, スター, リンカーなどの機材が送られ設置済み。

(2) 隊員の業務内容:

① 隊員の業務上の地位: 水産物加工の責任者として直接, 水産局長の指示を受ける。
 ② 技術の範囲: 水産物加工全般にわたる。③ 業務の形態: 将来的には 5~6 名のサモア人に水産物加工の全般について教え, 一通りの製造ができるように指導する。④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 未定 ⑤ 現地で利用でき機材: 播漬機, 採肉機, レット, リンカー, スター, リンカーなど一通り揃っている。⑥ 職場に於ける外国人及び日米専門家の配置状況: なし ⑦ 使用する言語: 英語
 1980 年 3 月 31 日現在未だ Fish Processing Shop の建設が完了せず製造実施に致さない状態である。残すところあと数台の器具の取り付けだけなので近日中には作業にかかれようと思う。予定としては魚肉ソーセージ及びサツマ揚げの真空パックを主体に製造する。缶詰類は既に外国製の安価な品が市場に出ている。採算面を折り合わせる必要がある。従ってもし缶詰製造を進めるとしては外国製品より安価でなおかつ味のよい物に対する内容物の特殊な製品の検討が必要である。将来的には製造作業の全般をサモア労働者に任せ、隊員は工程上のチェック, 完成製品のチェック及び衛生面の管理を行うようにする。製造が軌道に乗った段階で流通, 販路の整備と消費者に対する水産加工品についての知識の普及が必要になると思われる。またこれらの作業と平行してサモア人の嗜好の調査をし、それに基づいて新しい製品を開発することも考えられる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

サモア人は日本人と同様に非常に魚貝類を好んで食べる人々でカツオ, マグロはもちろんだこと、タコ, ナメコなどほんならあつち海産物を食用している。半面, 各家庭においては漁獲物を長期に保存する方法を持たずまた料理法も限られている。国内全般としては需要供給のバランスがとれていない。そこで水産物加工による漁獲物の有効利用及び供給の安定を計る。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大卒 (水産物加工関係の学科専攻者であること) 経験 1 年以上有れば望ましい。干物などの比較的原始的な製品の製造経験があれば尚よい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 4月 15日

132 養

鶏

調査者氏名

寺川 三郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
か-十	(現地公用語) Poultry Husbandry	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 養鶏	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) / 人	受入期限 5年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Veterinary Dept. Min. of Agriculture

(日本語): 農業者 畜産局

ロ. 隊員勤務先名称: Pong-Tamale Veterinary College 日本語名称 (サマラマレ畜産大学)

所在地: Pong-Tamale

主要都市からの距離 仰ぐより 30キロ

ハ. 事業規模及び内容:

農業者畜産局管轄下にある、獣医畜産科養成所
3年コ-2 - 学生40~45名の学生

ニ. 設備概要:

教室 実験室 (実験場 鶏バツグエリ) 等

(2) 隊員の業務内容:

○ カレッジの若鶏コ-2の学生と協力し、養鶏に関する全般的知識の習得と、実験指導、及び実習指導を行う。

○ 養鶏に関する全般的基礎知識を必要とする。

○ 担任 生化学実験を共に VSO が指導する。

○ 教員の指導はセクター 5年修了の学生と養鶏に関する経験豊富な農場からの学生である。

○ 教授の指導以外に、実習指導員として、農場の経営指導 指導指導の extensive work を担当している。
(研究室)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○ 大卒4年 (農学部 獣医畜産科) 等 (経験2年)

○ 養鶏に関する知識と experience 相手の指導力が必要

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 4月 15日

133 飼料作物

調査者氏名 平川 淳

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ガナ	(現地公用語)	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 5年(月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Veterinary Dept. Min. of Agric

(日本語): 農業者事務局

ロ. 隊員勤務先名称: 事務局 日本語名称 ()

所在地: ACCRA 主要都市からの距離 () より () キロ

ハ. 事業規模及び内容:

不明

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

○ 農業者事務局の 羊、山羊 (肉用) 農場の 飼料栽培と
 通じて 長肉 農場への 普及指導を行う。

○ 飼料の 育成指導 及び 飼料による 畜産上の 養育指導
 と 通じて 飼料の 普及指導を行う。

○ 上記のほか ガナ国内各地への 出張業務を行う。

○ 技術指導は 英語で行い 但し 普及指導では 現地語
 の 指導も 行う。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学 経験 2年以上 体力 健康

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 88 年 5 月 日

170 漁具 漁法

調査者氏名 中野 勝安

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
カーナ 共和国	(現地公用語) Pelagic Fishing	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 遠洋漁業	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): STATE FISHING CORPORATION.
 (日本語): 国家漁業公社 (漁業協同組合)
 ロ. 隊員勤務先名称: S. F. C. 日本語名称 ()
 所在地: TEMA 主要都市からの距離 (約 30 キロ)
 ハ. 事業規模及び内容: 約 200 人の従業員が従事している。14 隻のトロール船と 2 隻の運搬船を保有している。遠洋航海はインド海、1ヵ月間地帯。漁獲量は国内で消費されている。過去 3 年の漁獲高 1977-2180 トン、1978-2162 トン、1979-2360 トン、漁獲が減少している。過去 3 年の船の故障も 2 回ある。約半隻位しか残っていない (16035)。
 ニ. 設備概要: 550~600 本のトロール船 (100 隻 8 隻、100 隻 4 隻、100 隻 2 隻、時 1 隻 (運搬船) デモ船) 国内産 200 隻。

(2) 隊員の業務内容: 冷凍庫は、2ヵ所しかない。その他は塩干品として販売している。

- ・ 協同組合のトロール船に乗り組み、トロールの漁法を指導するこれが主な業務である。しかしながら、漁獲があがるか否かが期待されている。
- ・ 資格もさることながら、豊富なトロール船には漁船に乗り組み、従事した隊員がのぞましい。
- ・ 漁場に行くと、ある時は船頭 (漁場長) になると、船長になるともする。
- ・ 最初から指導が思わぬので共に勉強、そこから創意工夫により、合理的かつ効果的なことをあみだすことが必要。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 日本の漁法は、世界に比べて見劣りがなく、又、実績があることから日本の専門家 (ボツボツ) を要請したいと思料する。昨年までは、大洋漁業、時水産、若潮水産等が当 TEMA 港を基地として、カーナ一本釣をして成果を収めている。本年からは若潮水産と別の会社が従事している (他は漁業団体に引上げ)。隊員は 17 の期待は大である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で明記のこと): 実務経験 2~5 年以上は必要。体力に自信があり、協力性にとらわれない。持続する情熱の持主。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 4月 18日

19001 農林統計

調査者氏名 平川 謙安

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ガナ	(現地公用語) Agric Economist (Statistic)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 農業経済統計	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 1人	受入期限 56年4月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): *Statistic & Economic Planning Dept. Min. of Agric*

(日本語): 農業省統計経済計画局

□. 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 ()

所在地: ACCRA 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

DIRECTOR (Dr. Yiadan ATTA-KONADU) の指揮下に 約 15人の Economist による 農業の調査 分析に集中して 農業開発計画の 実行精進

ニ. 設備概要: E 行っている。

(2) 隊員の業務内容:

○ 計画された 農業開発 Project の feasibility Study に必要な 農業経済統計を行う。

○ 上述の指揮は DIRECTOR が行っており、現地の 資料収集等 上記の統計 基盤に、forecasting methodology の調査 統計に基いた分析 現地 等と集めて 系統的 経済統計 資料に集約。

○ DIRECTOR は経験 20年の Economist であり 高度な 知識と能力が認められる。その指導下におかれて、業務は遂行し得る。

○ Report 等を通じて 其能力を要す。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

修士卒以上
経験 1~2年
英語に堪能

← 経済学部でも可 →